

子ども服リユース「おゆずりぐるり」  
～市民団体と行政の協働による  
使用済み子ども服の取組みの拡充と発展～  
**事業報告書**

---

特定非営利活動法人  
とよなか市民環境会議アジェンダ21

2025年12月

# 1. 対象地域の概要

## ●対象地域

大阪府豊中市

## ●人口等（2025年9月1日現在）【豊中市ダッシュボード】

人口：405,946人

世帯数：200,163世帯（1世帯平均 約2.03人）

## ●年齢構成（2025年4月1日現在）【豊中市ダッシュボード】

0～14歳：53,185人（13.1%）

15～64歳：247,540人（61.1%）

65歳以上：104,698人（25.8%）

-----  
就学前児童人口（0～5歳）18,727人（4.6%）

年少人口（0～14歳）53,185人（13.1%）

# 1. 対象地域の概要

## ●特徴（「第2次豊中市都市計画マスタープラン」参照）

- ・市内全域が市街化区域
- ・住居系施設の割合が高く、人口の99%が駅・バスの圏内
- ・昭和30年代中頃～40年代中頃に大規模な公的住宅などが開発
- ・エリア別

北部・北東部・東部：戸建と集合住宅が比較的明確に分かれている

（イメージ）会社員を中心としたニュータウンのエリア

中北部・中部：戸建と集合住宅が混在した市街地が多くを占める

（イメージ）昔からの富裕層や転勤族などが多く住むエリア

西部：空港関連施設や工業系施設が多く立地

（イメージ）工業系で夜間人口が少ないエリア

南部：住居系施設と工業系施設が混在

（イメージ）人情ある下町エリア



## 2. 事業の目的 <昨年度モデル事業の実績>

### ●対象エリア

豊中市全域（豊中市内の特定のエリアに限定しない）

### ●対象の規模

本モデル事業の参加者合計を7,000人（人口の1.75％）に設定

※昨年度の参加人数3,540人から、ごみの減量目標と同じく「0.8％」と同じ割合の参加者数3,180人を上乗せして端数を切上げ

### ●現状の取組み（昨年度のモデル事業）

#### ①子ども服リユース常設拠点での回収

既存拠点での運営（環境交流センター）

期間6月21日～12月15日

参加者647人、回収896枚、配布2,202枚

アンケート実施 12月1日～15日 回答19人

新規拠点の開設（テトラポットカフェ）

期間10月31日～12月12日

回収418枚、補充（配布分の提供）509枚



## 2. 事業の目的 <昨年度モデル事業の実績>

### ② イベント等の実施

#### イベントの開催・参加

期間	行事名	参加者	配布	回収	アンケート
6/24～28	魅力発信コーナー(6月)	—	208枚	—	—
7/5～12	野畑図書館	501人	1,280枚	2,130枚	63人
8/2～8	魅力発信コーナー(8月)	—	149枚	—	—
8/27～9/1	岡町図書館	682人	2,384枚	2,327枚	148人
9/28	ちゃんぷる屋台村	197人	502枚	163枚	—
10/7～11	魅力発信コーナー(10月)	—	203枚	—	—
10/23～30	東豊中図書館	705人	2,409枚	3,101枚	111人
11/16	とよなか市民環境展	49人	—	537枚	29人
11/23～24	北条公民分館文化祭	224人	1,275枚	296枚	19人
12/2～6	魅力発信コーナー(12月)	—	246枚	—	—
12/7	わくわくランド	148人	740枚	158枚	25人
合計		2,506人	9,396枚	8,712枚	395人

## 2. 事業の目的 <昨年度モデル事業の実績>

### ② イベント等の実施

#### 子ども服の回収

コープ桜塚 7～11月（各月1週間のみ） 回収4,167枚

千里体育館 11月22日～12月5日 回収1,564枚

### ③ 小学校でのモデル実施

#### 大池小学校

環境学習の試行（4年生） 11月1日 3クラスで約100人

子ども服の回収 10月28日～11月9日 回収1,094枚

### ④ 回収ボックスの制作

シミ・汚れなどのある子ども服を原材料に、再生繊維フェルト（Rebornfiber®）のボード材を制作し、そのボード材を組み立てる形で制作

※使用済みの子ども服から子ども服専用の回収ボックスを制作した事例としては初となる。



## 2. 事業の目的 <昨年度モデル事業の実績>

### ⑤子ども服の在庫整理とボランティア体験会

#### 子ども服の在庫整理

連携団体が中心となり、環境事業所の子ども服を仕分けし、仕分け方法などを見直してコーディネーターの手引きに反映

#### ボランティア体験会

市内4か所で開催し、合計23人が参加、うち19人がボランティア登録

### ⑥広報・情報発信

ショップカードやリーフレットの制作、イベント等のチラシの作成  
Instagramでの発信、マチカネポイントアプリでの発信



## 2. 事業の目的

### ●現状の課題と対応（応募時点）

- ・（課題）常設拠点では配布枚数が増加し、子ども服の供給が不足しがちになっている。
- （対応）常設拠点にて設置する子ども服の適量や頻度について検討する。
  
- ・（課題）そもそも市内の家庭にある子ども服の数量等や、購入・廃棄の流れが不明。また、行政計画上の目標設定との連動も不明瞭で、活動のゴールが定まっていない。
- （対応）常設拠点やイベントの参加者を対象にアンケートを実施して、市内における子ども服の潜在的な枚数とフローを推計し、全体の概略を把握する。また、行政計画上の目標設定とも比較し、活動のゴールも検討する。
  
- ・（課題）子ども服に関する環境学習を市内のすべての小学校で実施する見通しが立っていない一方で、小学校へ情報提供し、希望した小学校に対して個別対応は可能である。
- （対応）小学校等に対して環境学習プログラムに関するPR用のパンフレット等を制作して案内する。

## 2. 事業の目的

### ●現状の課題と対応（応募時点）

- ・（課題）常設拠点でシミ・汚れのある子ども服の保管が増えてきているが、多くの常設拠点では処理に伴う費用の確保や、契約手続き等のハードルが高い状況にある。
- （対応）常設拠点で保管しているシミ・汚れのある子ども服について当団体で回収し、当団体で発生したシミ・汚れのある子ども服と一緒に、「①洗濯の実施」および「②子ども服を原材料としたボード材等での活用」を行う。

### 3. 事業の内容

#### 事業目標

- ・ 期間中に子ども服23,000枚の回収 ※参加人数7,000人
- ・ 小学校の環境学習や幼稚園等での子ども服の回収をあらたに2~3か所で実施
- ・ アンケート等を通して、市内の子ども服の現状把握を行うとともに、行政計画と連動した目標値（ゴール）を設定
- ・ 常設拠点の運営を通じた子ども服の動向について検証し、子ども服配布の望ましいあり方を見出す

#### < 拡充・新規の取組みと考え方 >

- ・ 昨年度のモデル事業で実施した内容：「土台部分」として継続
- ・ 今回のモデル事業での新たな内容：  
「土台部分」から拡充する取組み  
※「土台部分」の上に「発展的部分」を積み上げていくもの

### 3. 事業の内容

< 継続する取組み（土台となる取組み） >

- ①子ども服リユース常設拠点での回収と配布（環境交流センターなど）
- ②子ども服リユースイベント等での回収と配布（図書館での実施など）
- ③期間限定での回収ボックスの設置（コープでの回収など）

< 拡充する取組み >

- ①赤ちゃんのいる家庭へのアプローチ
    - ・乳幼児健診や赤ちゃんのハイハイレースでの子ども服配布
  - ②小学校卒業後の家庭を見すえたアプローチ
    - ・市内の小学6年生にリーフレットを配布
  - ③小学校・こども園へのアプローチ
    - ・子ども服の環境学習用のPRパンフの制作、小学校への配布
    - ・私立幼稚園へリーフレットの配布
- ※希望の園に対しては、回収などの協力

### 3. 事業の内容

#### < 新規の取組み >

- ①新たな担い手として高校生などとの連携
  - ・高校のボランティア部と連携し、高校生企画の実施
- ②市内の子ども服の現状把握とゴールの設定
  - ・市内の子ども服の現状把握をするためのアンケートの実施
  - ・行政計画と連動した目標値（ゴール）の検討
- ③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証（他の常設拠点と連携）
  - ・市立こども園での回収と常設拠点での回収の関係性の確認
  - ・常設拠点での季節変動の把握、設置に関する適量の検討
- ④独自の資金獲得の試行（ワークショップの実施）

### 3. 事業の内容

<その他>

- ・ のぼり旗の制作（追加制作）
- ・ シミ・汚れのある子ども服の対応  
（洗濯の実施、ボード材へのリサイクル）
- ・ SNSへの情報発信
- ・ 関係者での意見交換会
- ・ 事業報告書の作成（中間報告書／最終報告書の作成）

※「3. 事業の内容」に記載している内容について、環境交流センターの指定管理事業に位置付けて実施している取り組みを含む

## 4. 事業の実施体制

### ●当団体

役職等	人数	役割等
事務局長	1人	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境省や豊中市との連絡調整、報告書作成</li><li>・イベント実施の調整・対応等</li><li>・取組みの効果検証</li><li>・関係者による意見交換会の実施等</li></ul>
常勤職員	1人	<ul style="list-style-type: none"><li>・連携団体との調整等</li><li>・イベント実施の調整・対応等</li><li>・各取組みの広報・情報発信等</li></ul>
コーディネーター	1人	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども服の運搬、回収の対応等</li></ul>
非常勤職員 アルバイト	4人	<ul style="list-style-type: none"><li>・イベント実施時の現場対応</li></ul>

## 4. 事業の実施体制

### ●連携団体（市民団体）

団体名	役割等
赤ちゃんからのESD coral	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おゆずりぐるりのSNSでの環境情報の発信</li> <li>・常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証に協力</li> <li>・常設拠点のコーディネーターとして協力</li> <li>・本モデル事業の期間中に実施する、子ども服リユースに関する意見交換会へ出席</li> </ul>
一般社団法人 未来キャンバス きみいろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな担い手である高校生との連携企画の運営</li> <li>・パンフレット等の広報媒体の制作・更新に協力</li> <li>・独自の資金獲得のワークショップへの協力</li> <li>・本モデル事業の期間中に実施する、子ども服リユースに関する意見交換会へ出席</li> </ul>
●●（個人名） ※元北条たんぽ ぽの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミ・汚れのある子ども服の洗濯を実施</li> </ul>

## 4. 事業の実施体制

### ●連携団体（行政・事業者）

団体名	役割等
豊中市環境部 家庭ごみ事業課	<ul style="list-style-type: none"><li>・回収拠点で集まった子ども服の保管場所を提供し、市民団体と協働で検品や在庫管理を実施</li><li>・イベントの際に、回収した子ども服や備品の貸出し</li><li>・市の媒体を通じた取り組みの発信に協力</li><li>・本モデル事業の期間中に実施する、子ども服リユースに関する意見交換会に出席</li></ul>
豊中市環境部 ゼロカーボン シティ推進課	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境交流センターの担当課として、チラシ配布や乳幼児健診との連携等を調整</li><li>・本モデル事業の期間中に実施する、子ども服リユースに関する意見交換会に出席</li></ul>
豊中市立図書館	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども服リユースイベントの協働での開催</li></ul>
コープ桜塚	<ul style="list-style-type: none"><li>・本モデル事業の期間中に、毎月1週間程度、店内に回収ボックス設置の協力</li><li>・子ども服回収のポスター等を店内に掲示</li></ul>

※ゼロカーボンシティ推進課は、環境交流センターの指定管理事業としての実施分について、担当課として必要な対応を協力

## 4. 事業の実施体制

### ●連携団体（学校）

団体名	役割等
箕面自由学園高校	・子ども服リユースイベントの企画・実施

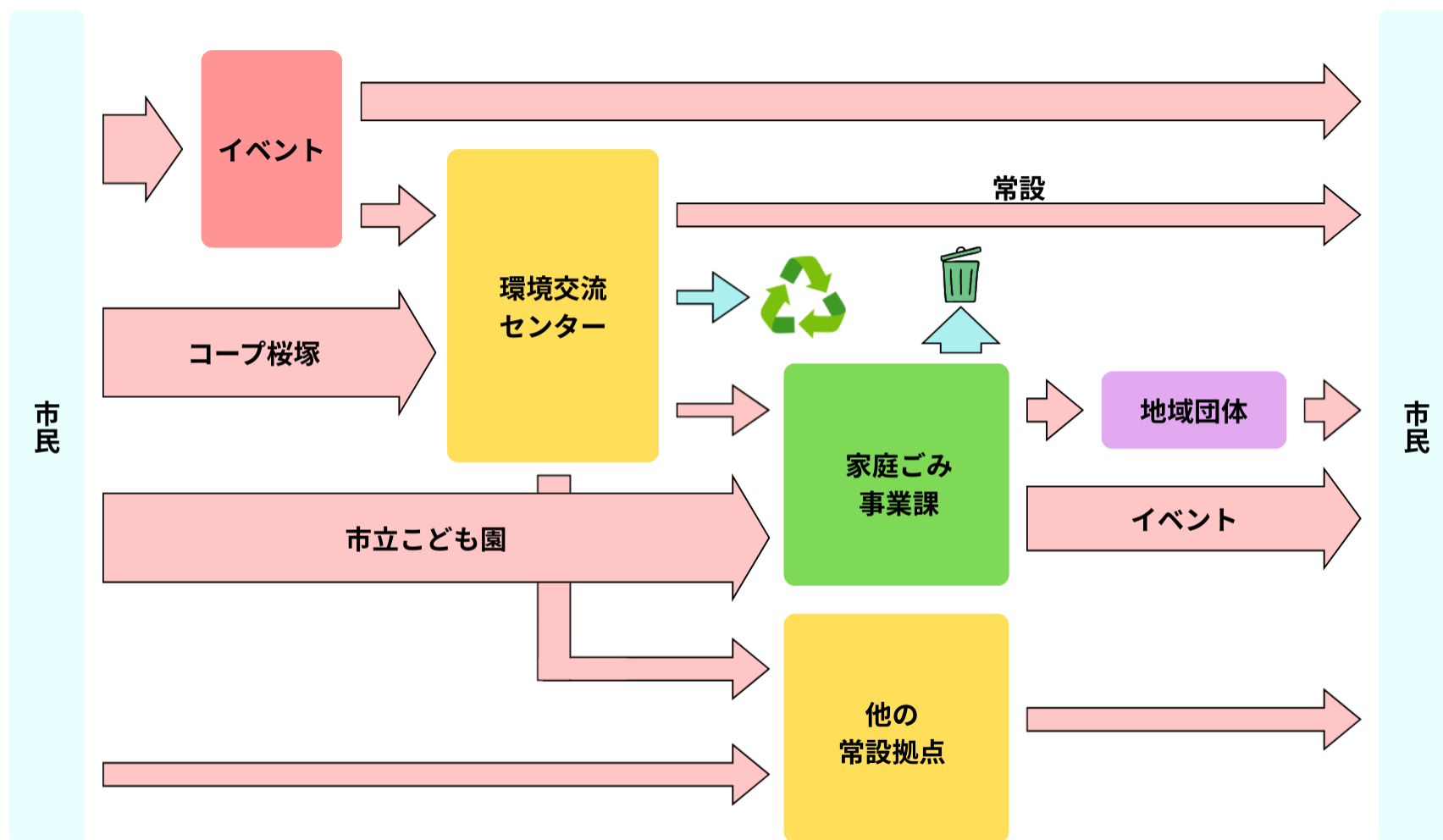
### ●事業に協力する市民（個人）

名称	人数	役割等
ボランティア	約25人	<ul style="list-style-type: none"><li>・回収した子ども服の仕分け作業の協力</li><li>・イベント当日に会場で子ども服の補充や、回収した子ども服の仕分け</li><li>・担当する常設拠点へ定期的に訪問し、子ども服の補充、在庫の確認、SNS等での発信、当団体の担当職員との連絡調整等の実施</li></ul>

## 4. 事業の実施体制

### ●目標の達成状況

豊中市内の子ども服循環の状況（イメージ図）



## 4. 事業の実施体制

### ●市民への協力要請の内容

#### 【対象者】

- ・子育て中（または孫育て中）の市民で、子ども服を必要とする人
- ・まだ使える子ども服を手放したいと考えている人

#### 【市民への要請内容】

- ①子ども服の回収時は、洗濯済みのものとし、シミ汚れのあるものは避けて、サイズ別に分ける。
- ②回収場所に持参した子ども服は、子ども服を自分でハンガーに設置する場合や、サイズ別の回収ボックスに分けていれる場合など、回収拠点によって異なるため、その対応に合わせていただく。
- ③イベントに参加した場合、会場で子ども服リユースのアンケートに協力する（任意）。アンケートに協力した場合は、マチカネポイントを進呈する。
- ④一部の常設拠点やイベントで実施する、市内における子ども服の潜在的な枚数とフローを推計するためのアンケートに協力する（任意）。

## 4. 事業の実施体制

### ●豊中市との協議事項

#### 主な協議内容

- ・ 定量的な効果検証に向けて、豊中市の子ども服データ等の提供
- ・ シミ・汚れのある子ども服について廃掃法との関係の確認
- ・ 常設拠点の開設や新たな会場でのイベント実施等について
- ・ 市内の小学校やこども園への広報活動について
- ・ 環境交流センターの指定管理事業としての実施に含むかどうかの整理

#### 協議の方法

- ・ 本モデル事業への応募時・実施期間中に、意見交換会・個別の打合せにより豊中市との調整・協議を実施
- ・ 本モデル事業の進捗状況は、市の担当者にもメール等で適宜報告

## 4. 事業の実施体制

### ●豊中市との廃掃法に関する確認事項（昨年度のモデル事業で整理）

#### 子ども服の廃棄処理について

- ・当団体が主催・共催するおゆずりぐるりで発生したシミ・汚れのある子ども服について、当団体が契約している一般廃棄物処理の指定業者に引き渡すことは最も適正な方法であり、何ら問題がない。この他の方法として、豊中市伊丹市クリーンランド（清掃工場）へ自ら持ち込み処理する方法がある。なお、清掃工場へ持ち込む際、運搬する乗用車への表示までは求められていない。
- ・当団体から他の常設拠点等へ子ども服を提供し、その中にシミ・汚れのある子ども服が混ざっていた場合は、該当する服だけを返却してもらい、前述の方法で処理をするのであれば問題がない。
- ・他の常設拠点やイベントの実施主体が独自に子ども服を回収し、その中にシミ・汚れのある子ども服があった場合は、各実施主体が自分たちで前述のような方法により処理をしてもらうことになる（当団体が回収を行ったら、廃掃法違反になる）。

## 4. 事業の実施体制

### ●豊中市との廃掃法に関する確認事項（昨年度のモデル事業で整理）

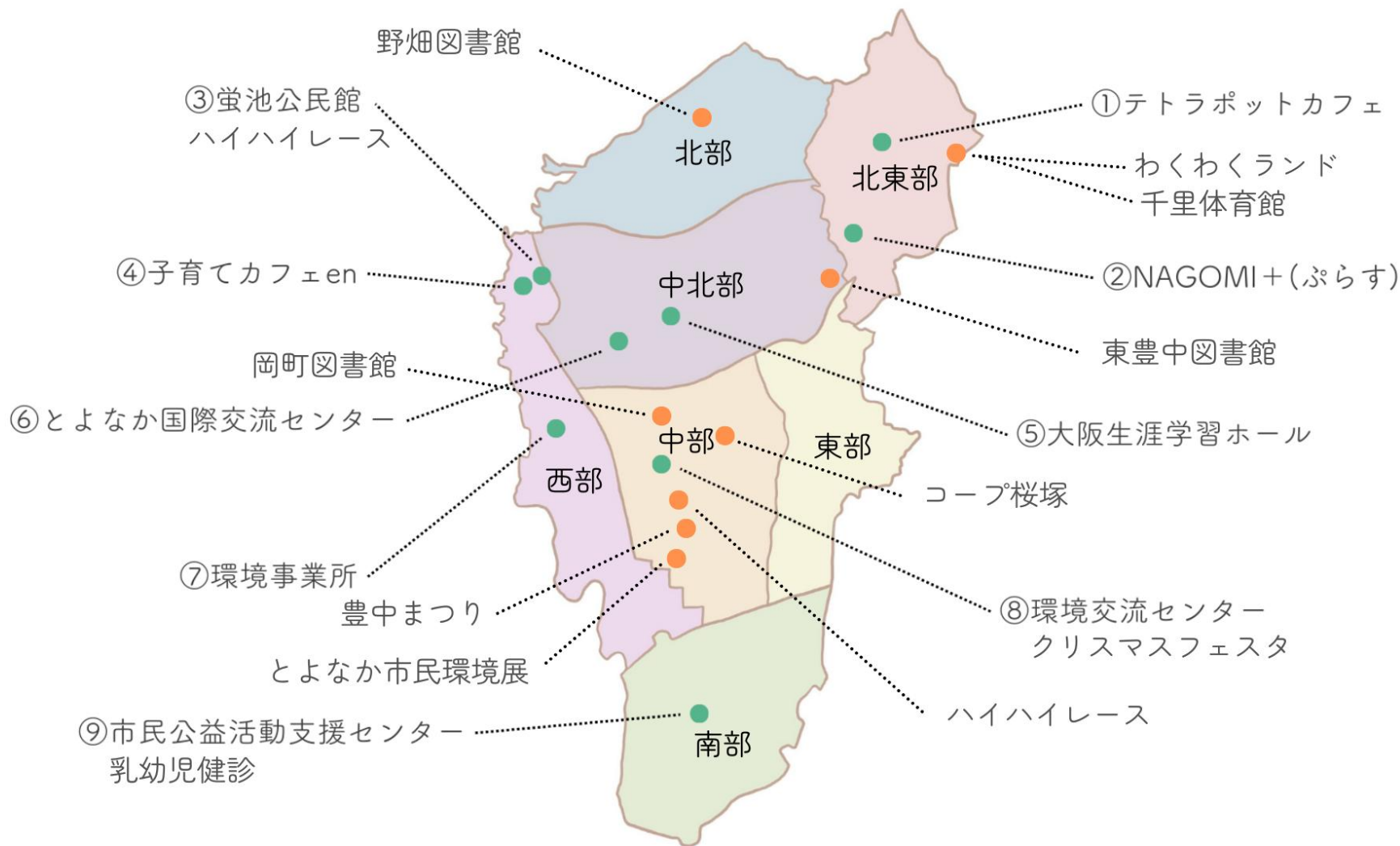
#### 子ども服のリサイクルについて

・シミ・汚れのある子ども服について、資源循環を目的に回収し、回収した全量をリサイクルに回すのであれば、廃掃法に抵触しない。言い換えると、他の常設拠点にあるシミ・汚れのある子ども服を回収し、それらをすべてリサイクルするのであれば、回収することは差し支えない。その際、公民館などの豊中市直営の施設から回収し、リサイクルに回すことも問題ない。

・本モデル事業応募時に、家庭ごみ事業課に保管されている子ども服のうち、シミ・汚れのあるものを回収ボックス制作のために提供できないと回答があった。これは、こども園で回収をする際に、回収ボックスに入れる市民に対してリサイクルで活用する旨を示していないという道義的な観点から判断したものであり、廃掃法に違反するから提供できないと回答したわけではない。

# 5. 事業の成果

## ●実施場所



## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ●実施結果

< 継続する取組み（土台となる取組み） >

#### ①子ども服リユース常設拠点での回収と配布

##### 環境交流センター

< 設置 >

- ・ハンガーラック（3台）
- ・回収ボックス
- ・展示パネル（3枚）
- ・チラシ・リーフレット等
- ・のぼり旗

< 実施 >

- ・利用者のカウント
- ・配布・回収枚数の集計



## 5. 事業の成果 < 継続 >

①子ども服リユース常設拠点での回収

既存拠点での運営（環境交流センター）

期間	利用者数	回収			配布
	人数	枚数	重量	1枚重量	枚数
6/23～30	25人	529枚	60.3kg	114.0g	41枚
7/1～31	90人	442枚	54.1kg	122.4g	239枚
8/1～31	110人	279枚	32.1kg	115.1g	190枚
9/1～30	96人	188枚	22.8kg	121.3g	136枚
10/1～31	161人	364枚	41.1kg	112.9g	226枚
11/1～30	142人	518枚	76.1kg	146.9g	219枚
12/1～19	68人	285枚	44.4kg	155.8g	118枚
合計	692人	2,605枚	330.9kg	127.0g	1,169枚

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ①子ども服リユース常設拠点での回収と配布

#### 子育てカフェen（新規常設拠点）

2025年10月に子ども服のボランティアの方が個人で開設したカフェ  
子育て中の親子向けの居場所で、子ども服の常設コーナーを設置  
開設に際して、子ども服やハンガー・ハンガーラックなどを提供



## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

期間等	行事名	参加者	配布	回収	アンケート	マチカネP付与
7/2～6	東豊中図書館	466人	1,393枚	1,872枚	94人	91人
9/2～7	岡町図書館	557人	2,002枚	1,966枚	134人	122人
10/18	豊中まつり	195人	269枚	10枚	13人	13人
10/23～29	野畑図書館	514人	1,850枚	2,033枚	96人	85人
11/18	環境展	115人	—	534枚	47人	48人
12/6	わくわくランド	145人	502枚	64枚	11人	11人
合計		1,992人	6,016枚	6,479枚	395人	370人

※参加者には、関係者やボランティア等を含む

※アンケートは重複回答を除いた有効回答数

※とよなか市民環境展はおゆずりぐるりとしての実施分（回収のみ）を記載

## 5. 事業の成果 < 継続 >

②子ども服リユースイベント等での回収と配布

(参考) 1人あたりの重量・枚数等

<< 回収 >>

行事名	全体			平均		
	枚数	人数	重量	1枚重量	1人枚数	1人重量
東豊中図書館	1,872枚	125人	241.5kg	129.0g	15.0枚	1.93kg
岡町図書館	1,966枚	130人	236.4kg	120.2g	15.1枚	1.82kg
豊中まつり	10枚	3人	0.5kg	50.0g	3.3枚	0.17kg
野畑図書館	2,033枚	161人	266.9kg	131.3g	12.6枚	1.66kg
環境展	534枚	66人	73.4kg	137.5g	8.1枚	1.12kg
わくわくランド	64枚	6人	9.0kg	140.6g	10.7枚	1.50kg
合計	6,479枚	491人	827.7kg	127.8g	13.2枚	1.69kg

## 5. 事業の成果 < 継続 >

②子ども服リユースイベント等での回収と配布

(参考) 1人あたりの重量・枚数等

<< 配布 >>

行事名	全体			平均		
	枚数	人数	重量	1枚重量	1人枚数	1人重量
東豊中図書館	1,393枚	—	181.6kg	130.4g	—	—
岡町図書館	2,002枚	—	242.4kg	121.1g	—	—
豊中まつり	269枚	—	34.6kg	128.6g	—	—
野畑図書館	1,850枚	—	261.4kg	141.3g	—	—
環境展	—	—	—	—	—	—
わくわくランド	502枚	—	75.0kg	149.4g	—	—
合計	6,016枚	—	795.0kg	132.1g	—	—

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布



東豊中図書館



岡町図書館



豊中まつり



野畑図書館



とよなか市民環境展



みんなあつまれわくわくランド

## 5. 事業の成果 < 継続 >

②子ども服リユースイベント等での回収と配布  
参加者の年代（アンケート）

選択肢	回答数	割合
1. 10代	2人	0.5%
2. 20代	6人	1.5%
3. 30代	141人	35.7%
4. 40代	165人	41.8%
5. 50代	41人	10.4%
6. 60代	29人	7.3%
7. 70代	6人	1.5%
8. 80代以上	1人	0.3%
9. 回答しない	4人	1.0%
合計	395人	100.0%

参加者は、最も多いのが40代・次いで30代で、20代以下は2%であった。  
20代以下の割合は、昨年度と同程度であった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服リユースにおける満足度（アンケート）

問：今回の「おゆずりぐるり」について、どれくらい満足されましたか。

選択肢	回答数	割合
1. 満足	305人	68.2%
2. どちらかという満足	104人	23.3%
3. どちらともいえない	29人	6.5%
4. どちらかという不満	3人	0.7%
5. 不満	5人	1.1%
6. わからない	1人	0.2%
合計	447人	100.0%

※実施したアンケート全体での集計（②以外のアンケートも含む）

参加者の91%以上が「満足」「どちらかという満足」を選択しており、  
昨年に引き続き非常に高い満足度が得られたことがわかった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服リユースの子ども服の利用者（アンケート）

問：子ども服は、誰が使うことを考えて持ち帰っていますか。

選択肢	回答数	割合
1. 自分の子ども	238人	84.1%
2. 自分の孫	26人	9.2%
3. 自分の親戚	8人	2.8%
4. 自分の友人やその家族	6人	2.1%
5. 自分自身が使う	3人	1.1%
6. その他	2人	0.7%
合計	283人	100.0%

※実施したアンケート全体での集計（②以外のアンケートも含む）

大半は「自分の子ども」であるものの、「自分の孫」をはじめ、それ以外の対象者を想定した利用があることがわかった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服リユースにおける環境意識の向上（アンケート）

問：今回の「おゆずりぐるり」に参加して良かったと思う項目をすべて選んでください。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
1. 不要になった子ども服を手放すことができた	202人	53.2%
2. 子ども服を新たに無料で手に入れることができた	227人	59.7%
3. 子ども服のリユースという取組みを通じて、環境意識が高まった	138人	36.3%
4. 子連れでも気軽に参加でき、気分転換になった	45人	11.8%
5. 子育ての悩みなどを聞いてもらえて、気持ちが楽になった	1人	0.3%
6. その他	8人	2.1%
7. 特にない	10人	2.6%
合計	631人	—

※実施したアンケート全体での集計（②以外のアンケートも含む）

参加者の3人に1人以上が「環境意識が高まった」と回答。  
子育ての気分転換につながったと回答したのは約12%と限定的であった。  
いずれも昨年度の結果と大差はなかった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服リユースの参加状況（アンケート）

問：これまでに豊中市内の子ども服リユース「おゆずりぐるり」の取組みに参加したことはありますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
1. 今回が初めて	117人	29.6%
2. 子ども服リユースの常設拠点に、子ども服を持って行ったことがある	117人	29.6%
3. 子ども服リユースの常設拠点から、子ども服を持ち帰ったことがある。	103人	26.1%
4. 期間限定のイベント等に、子ども服を持って行ったことがある。	132人	33.4%
5. 期間限定のイベント等から、子ども服を持ち帰ったことがある。	110人	27.8%
6. こども園での子ども服の回収に協力したことがある。	17人	4.3%
7. その他	11人	2.8%
合計	607人	—

参加者の3割近くが「今回が初めて」と回答。  
昨年と同じ会場でも、初めての参加が一定あったことがわかった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服リユースの広報手段（アンケート）

問：今回の「おゆずりぐるり」をどこで知りましたか。

答：チラシと回答

選択肢	回答数	全回答数	割合
東豊中図書館	22人	94人	23.4%
岡町図書館	43人	134人	32.1%
野畑図書館	29人	96人	30.2%
環境展	11人	47人	23.4%
クリスマスフェスタ	10人	32人	31.3%
合計	115人	403人	28.5%

※チラシを配布したイベント等について集計（②以外のアンケートも含む）

会場により多少の差があるものの、平均して3割近くが  
近隣の小学校・こども園でのチラシ配布による参加であった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服リユースの広報手段（アンケート）

問：今回の「おゆずりぐるり」をどこで知りましたか。

答：マチカネポイントアプリの通知と回答

選択肢	回答数	全回答数	割合
東豊中図書館	32人	94人	34.0%
岡町図書館	27人	134人	20.1%
野畑図書館	35人	96人	36.5%
クリスマスフェスタ	12人	32人	37.5%
合計	106人	356人	29.8%

※マチカネポイントアプリの通知を活用して告知したイベント等について集計  
（②以外のアンケートも含む）

東豊中図書館を除くと、およそ3人に1人以上が  
マチカネポイントアプリを見ての参加であった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服イベントを開催することの施設の効果（アンケート）

問：（施設名）の利用について、教えてください。

選択肢	回答数	割合
1.（施設名）の存在を知らず、今回初めて利用した	63人	16.5%
2.（施設名）の存在は知っていたが、今回初めて利用した	44人	11.5%
3. 過去に1～2回、利用したことがある	68人	17.8%
4. 過去に3回以上、利用したことがある	207人	54.2%
5. わからない	0人	0.0%
合計	382人	100.0%

いずれのイベントも昨年度と同じ会場で継続実施であるが、当該施設を初めて利用した人が3割近く、昨年度と同程度の割合であった。開催施設にとって、子ども服リユースのイベントが新規の利用に一定程度の効果があることがわかる。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服イベントを開催することの施設の効果（アンケート）

問：今回、（施設名）へはどのような交通手段で来られましたか。

選択肢	回答数	割合
1. 徒歩	75人	16.8%
2. 自転車	271人	60.6%
3. 原付・バイク	4人	0.9%
4. 路線バス	8人	1.8%
5. タクシー	1人	0.2%
6. 自家用車	75人	16.8%
7. 電車	12人	2.7%
8. その他	1人	0.2%
合計	447人	100.0%

※実施したアンケート全体での集計（②以外のアンケートも含む）

施設へのアクセスでは、自転車と徒歩で大半を占めており、地域ごとの開催により、近隣利用者を中心に構成していることがわかる。  
なお、自家用車は、施設の駐車場の有無により回答に差があった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ②子ども服リユースイベント等での回収と配布

子ども服イベントの過去の参加状況（アンケート）

問：昨年、（イベント名・施設名）で開催した際は参加されましたか。

答：初めて参加

選択肢	回答数	全回答数	割合
東豊中図書館	55人	94人	58.5%
岡町図書館	78人	134人	58.2%
野畑図書館	61人	96人	63.5%
環境展	19人	47人	40.4%
わくわくランド	5人	11人	45.5%
合計	218人	382人	57.1%

施設での開催とイベントでの出展で割合が異なるものの、施設開催では約6割、イベント参加では約4割が初めての参加であった。同じ会場・イベントでも、参加者の入れ替わりがあることがわかった。

## 5. 事業の成果 < 継続 >

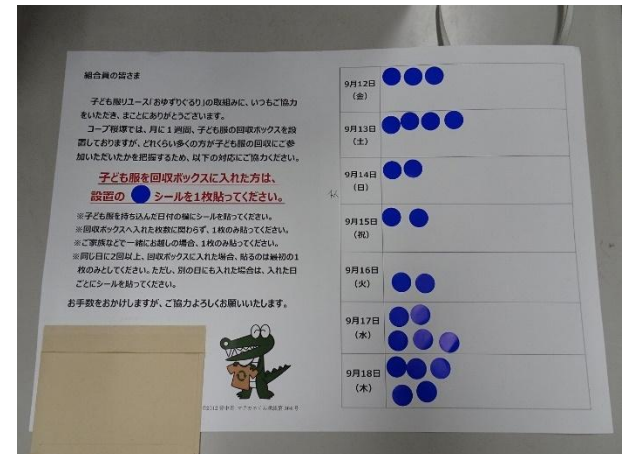
### ③期間限定での回収ボックスの設置

#### コープ桜塚

期間	回収	重量	1枚重量
7/11~17	612枚	75.7kg	123.7g
8/8~14	486枚	62.9kg	129.4g
9/12~18	717枚	110.3kg	153.8g
10/10~16	687枚	90.7kg	132.0g
11/14~20	1,377枚	195.3kg	141.8g
12/12~18	602枚	98.2kg	163.1g
合計	4,481枚	624.1kg	139.3g

※いずれも第2金曜から翌週の木曜まで

- 回収ボックスは無人対応のため、子ども服を持ち込んだ方にシールを貼ってもらうことで、回収人数の把握を試行した。



## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ③期間限定での回収ボックスの設置

#### コープ桜塚

(参考) 回収人数の試行と1人あたりの実績

≪ 期間全体で貼られたシールの枚数 ≫ ※：祝日

曜日	8月	9月	10月	11月	12月
金	2枚【3人】	3枚	5枚	2枚【12人】	1枚
土	2枚	4枚	1枚	5枚	3枚
日	3枚	2枚【4人】	3枚	5枚	0枚【8人】
月(祝)	2枚 ※	2枚 ※	4枚 ※	7枚	0枚
火	4枚	2枚	4枚	0枚	0枚
水	2枚	5枚	2枚	2枚	1枚
木	2枚【7人】	5枚	0枚【7人】	3枚	3枚
合計	17枚【10人】	23枚【4人】	19枚【7人】	24枚【12人】	8枚【8人】

※回収ボックス付近で回収協力人数を目視でカウントする調査日を設け、シール貼り付け枚数との乖離を調査した。【】内は目視で確認された回収協力人数。

※調査日のみ合計：8枚【41人】

## 5. 事業の成果 < 継続 >

### ③期間限定での回収ボックスの設置

コープ桜塚

《カウント日のみ》

日付	人数	枚数	重量	1枚重量	1人枚数	1人重量
8/8(金)	3人	18枚	3.2kg	177.8g	6.0枚	1.07kg
8/14(木)	7人	109枚	14.8kg	135.8g	15.6枚	2.11kg
9/14(日)	4人	54枚	8.0kg	148.1g	13.5枚	2.00kg
10/16(木)	7人	43枚	5.6kg	130.2g	6.1枚	0.80kg
11/14(金)	12人	339枚	44.5kg	131.3g	28.3枚	3.71kg
12/14(日)	8人	116枚	18.1kg	156.0g	14.5枚	2.26kg
合計	41人	679枚	94.2kg	138.7g	16.6枚	2.30kg

《人数の概算》

- ・調査日に回収に協力した人数41人に対し、シールを貼った人数が8人
- ・5.125人に1人にシールを貼ったと仮定して、期間中にシールの貼られた枚数が91枚であったため、概算人数は466.375人（≒466人）

## 5. 事業の成果 < 継続 >

③期間限定での回収ボックスの設置  
千里体育館

期間	回収	重量	1枚重量
11/27(木)~12/4(木)	840枚	126.8kg	151.0g



## 5. 事業の成果 < 拡充 >

< 拡充する取組み >

①赤ちゃんのいる家庭へのアプローチ

赤ちゃんのハイハイレースでの配布

日付	場所	参加者	配布	アンケート
6/30	蛍池公民館	21人	16枚	36人
7/4		51人	34枚	25人
11/28	中央公民館	134人	69枚	36人
合計		206人	119枚	97人

※参加者数にはイベント全体のスタッフ等も含む

※各公民館のアンケートに設問を入れてもらったため、アンケートの人数は配布に参加していない人も含む

## 5. 事業の成果 < 拡充 >

### ①赤ちゃんのいる家庭へのアプローチ

#### 乳幼児健診での配布

日付	対象	参加者	配布	アンケート	マチカネ P付与
7/24	4か月健診	42人	61枚	8人	8人
8/7	1歳半健診	61人	64枚	6人	4人
9/25	4か月健診	76人	81枚	0人	0人
11/27	4か月健診	69人	45枚	6人	3人
合計		248人	251枚	20人	15人

※参加者数にはボランティア等も含む

- ・ 乳幼児健診と同日に同じ施設内で実施したため、乳幼児健診以外の施設利用者も参加している。
- ・ 一部の開催は、赤ちゃんのブックファースト（乳幼児健診とあわせて図書館が実施）のスペースを借りて実施。

## 5. 事業の成果 < 拡充 >

### ①赤ちゃんのいる家庭へのアプローチ

(参考) 1人あたりの重量・枚数等 (配布)

《赤ちゃんのハイハイレース》

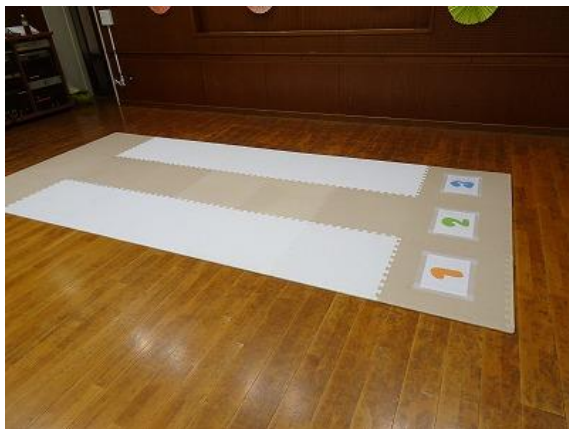
日付	全体			平均		
	枚数	人数	重量	1枚重量	1人枚数	1人重量
6/30	16枚	21人	1.1kg	68.8g	0.8枚	0.05kg
7/4	34枚	51人	3.0kg	88.2g	0.7枚	0.06kg
11/28	69枚	134人	8.9kg	129.0g	0.5枚	0.07kg
合計	119枚	206人	13.0kg	109.2g	0.6枚	0.06kg

《乳幼児健診》

7/24	61枚	42人	4.9kg	80.3g	1.5枚	0.12kg
8/7	64枚	61人	5.8kg	90.6g	1.0枚	0.10kg
9/25	81枚	76人	5.4kg	66.7g	1.1枚	0.07kg
11/27	45枚	69人	5.9kg	131.1g	0.7枚	0.08kg
合計	251枚	248人	22.0kg	87.6g	1.0枚	0.09kg

## 5. 事業の成果 < 拡充 >

### ① 赤ちゃんのいる家庭へのアプローチ



赤ちゃんのハイハイレース



乳幼児健診

## 5. 事業の成果 < 拡充 >

### ①赤ちゃんのいる家庭へのアプローチ

子ども服を持ち帰った枚数（アンケート）

	回答数	回答枚数	1人平均枚数
東豊中図書館	57人	358枚	6.3枚
岡町図書館	88人	574枚	6.5枚
豊中まつり	12人	51枚	4.3枚
野畑図書館	61人	430枚	7.0枚
わくわくランド	9人	45枚	5.0枚
クリスマスフェスタ	23人	130枚	5.7枚
乳幼児健診	17人	78枚	4.6枚
ハイハイレース(蛍池)	15人	35枚	2.3枚
ハイハイレース(中央)	14人	39枚	2.8枚

※アンケート回答で、持ち帰った枚数の合計から回答人数で割った1人平均枚数を比較

アンケート回答者に限るが、乳幼児健診やハイハイレースでは子ども服の持ち帰り枚数がイベント等と比べて少ない。子ども服リユースが主目的でないことや、必要とする子ども服の枚数が少ないことが考えられる。

## 5. 事業の成果 < 拡充 >

### ①赤ちゃんのいる家庭へのアプローチ

参加者の年代（アンケート）

選択肢	回答数	割合
1. 10代	0人	0.0%
2. 20代	7人	12.5%
3. 30代	36人	64.3%
4. 40代	10人	17.9%
5. 50代	0人	0.0%
6. 60代	0人	0.0%
7. 70代	1人	1.8%
8. 80代以上	0人	0.0%
9. 回答しない	2人	3.6%
合計	56人	100.0%

※乳幼児健診とハイハイレースのみの集計

イベントでは2%であった20代以下の参加者が10%超えとなり、30代の割合も大幅に増加した。  
若い年代の保護者へのアプローチとして、一定の効果があった。

# 5. 事業の成果 < 拡充 >

## ② 小学校卒業後の家庭を見すえたアプローチ

昨年度のモデル事業で作成したリーフレットを更新

小学校卒業後の子どもがいる家庭にも、Instagramでの情報発信を通してアプローチすることを目的として、Instagramの紹介を追加



## 5. 事業の成果 < 拡充 >

### ③ 小学校・こども園へのアプローチ

#### 小学校へのアプローチ

昨年度のモデル事業で試験的に実施した小学校での環境学習について、市内の全小学校へPRするためのチラシを制作

**子ども服リユースについて学ぶ**  
**出前授業**

**授業内容**

簡単なクイズ等を交えながら、服の廃棄問題、サステナブルファッション<sup>(注)</sup>、市内の子ども服リユースの取り組みなどを学びます

【主な対象】小学4～6年生  
【所要時間】1～2コマ

**SDGsって何なる？**

Sustainable (持続可能な)  
Development (開発)  
Goals (目標)

**出前授業のメリット**

- 服の生産、輸送、廃棄に環境負荷がかかっていることを学び、小学生が普段身につけている衣服の買い方・使い方・手放し方を少し変えるだけで、SDGsにつながることを実感できる
- 出前授業に合わせて校内に子ども服の回収ボックスを設置し、小学生が子ども服のリユースを実践することも可能

**授業を受けた先生・生徒の声**

- 服を作るのにたくさんの資源が使われていることを知れた。(小4・生徒)
- 服を「あ、これかわいい」で買ってしまうのはもったいないことだと知った。(小4・生徒)
- 4年生の社会科の教科書にSDGsについての図解がたっぷりあって、小学校でその内容を勉強していると感じた。(先生)
- パワーポイントが非常にわかりやすく、子どもたちも理解しやすい授業だった。(先生)
- 子どもだけでなく大人も大変勉強になった。(先生)

**おゆずりぐるり**

豊中市内では、市民団体と行政が70～160サイズの子も服を回収し、無料で配布する取組みを進めています

**問合せ先**

NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21  
TEL 06-6844-8611  
MAIL jimukyoku@toyonaka-agenda21.jp

## 5. 事業の成果 < 拡充 >

### ③ 小学校・こども園へのアプローチ

#### こども園へのアプローチ

更新したリーフレットを市内のこども園に配布

私立こども園（1園）で独自に回収した子ども服を受け入れ

※リーフレットの配布による効果とは関係ない

日付	全体		平均
	枚数	重量	1枚重量
10/10	52枚	7.3kg	140.4g
12/10	269枚	22.5kg	83.6g

- ・本事業とは別で活動する人が当該こども園に回収ボックスを設置するなどの取組みを行っていたが、最近は集まった子ども服の対応が滞り、子ども服の行先に困っている旨の相談を受けて、子ども服の受け入れに協力した。

## 5. 事業の成果 <新規>

### <新規の取組み>

#### ①新たな担い手として高校生などとの連携

高校のボランティア部と連携し、高校生企画とあわせて実施した

日付	行事名	参加者	配布	回収	アンケート	マチカネP付与
12/14	クリスマスフェスタ	170人	502枚	203枚	32人	31人

※参加者数には子ども服を担当した高校生を含む

※イベント全体の参加者数は343人（うち高校生・ボランティア等36人）

（参考）1人あたりの重量・枚数等

	全体			平均		
	枚数	人数	重量	1枚重量	1人枚数	1人重量
回収	203枚	24人	29.3kg	144.3g	8.5枚	1.22kg
配布	502枚	—	76.9kg	153.2g	—	—

## 5. 事業の成果 <新規>

①新たな担い手として高校生などとの連携

(参考) 実施に際しての主な役割分担

項目	当団体	連携団体	高校
日程・会場等との検討・調整		◎	
企画内容の検討(子ども服以外)		○	◎
企画内容の実施準備(子ども服以外)		○	◎
チラシの作成			◎
広報活動(チラシ配布を含む)	◎		
当日運営(子ども服(準備等))	◎		○
当日運営(子ども服(開催中))	○		◎
当日運営(資金獲得のワークショップ)	◎	○	
当日運営(その他の企画)		○	◎

※複数の主体が関わった項目については、より主体的に実施した方を◎、補助やサポート的に関わった方を○としている

## 5. 事業の成果 <新規>

### ①新たな担い手として高校生などとの連携

(参考) 高校生の感想

- ・自分たちで一から考えて作り上げたイベントで、楽しんでもらえたことがうれしかった
- ・思っていた以上にたくさんの方が来てくれて驚いたが、楽しく遊ぶことができて、非常にいい経験になった
- ・今後も地域の人たちとのつながり作りに貢献していきたい



## 5. 事業の成果 <新規>

①新たな担い手として高校生などとの連携

高校生連携イベントの参加者（アンケート）

問：小学生以下の子どもと一緒に参加されましたか。

選択肢	回答数	割合
1. 子ども(または孫)と一緒に参加した	23人	71.9%
2. 大人だけ(自分だけ)で参加した	9人	28.1%
合計	32人	100.0%

通常の子ども服リユースのイベントと異なり、  
高校生が中心となって親子参加を目的に企画したところ、  
実際に参加者の約7割が親子参加であった。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ①新たな担い手として高校生などとの連携

高校生連携イベントを開催することの施設の効果（アンケート）

問：環境交流センターの利用について、教えてください。

選択肢	回答数	割合
1. 環境交流センターの存在を知らず、今回初めて利用した	10人	31.3%
2. 環境交流センターの存在は知っていたが、今回初めて利用した	2人	6.3%
3. 過去に1～2回、利用したことがある	11人	34.4%
4. 過去に3回以上、利用したことがある	9人	28.1%
5. わからない	0人	0.0%
合計	32人	100.0%

会場となった施設の初めての利用が4割近くあり、  
図書館等で実施した通常のイベントよりも1割程度高かった。  
高校生との連携で、施設にとっても新規利用者の獲得につながった。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ②市内の子ども服の現状把握とゴールの設定

目的：市内における子ども服の潜在的な枚数とフローを推計

実施期間：11月22日～12月10日

実施方法：メールフォームでの回答

回収数：296件（うち有効回答数287件）

豊中市内で自宅に子ども服がある方が対象！  
子ども服リユース「おゆずりぐるり」の取り組みの一環として、豊中市内のご家庭にある子ども服の枚数や、子ども服の購入・廃棄についての現状把握を行うため、アンケートを実施します。

アンケート回答で  
**マチカネポイント**  
300ポイントを進呈します！

【期間】2025年11月22日～12月10日

※期間途中であっても、予定の回答数に達した時点で終了します。

【アンケート回答方法】  
右のQRコードからアンケートフォームにてご回答ください。  
※ポイントの付与は、期間中1世帯につき1回限りです。  
※ポイントは12月中旬にアプリへ付与される予定です。

©2012豊中市 マチカネくん承認第364号

【問合せ】NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21  
TEL:06-6844-8611（環境交流センター内、9時～17時 / 月曜日休館）  
～環境省「令和6年度補正予算 使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業」の一環で実施します～

## 5. 事業の成果 <新規>

### ③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証

#### 市立こども園での回収

期間	回収	重量	1枚重量	処分量	割合
2023年10月	10,124枚	—	—		
2024年5月	5,431枚	—	—		
2024年10月	5,442枚	520.9kg	95.7g	1,630枚	30.0%
2025年5月	5,646枚	732.8kg	129.8g		
2025年10月	4,843枚	515.2kg	106.4g	11.1kg	2.2%
合計(直近2回分)	10,489枚	1,248.0kg	119.0g	—	—

- ・年1回の回収であった2023年度までより、年2回に分けた2024年度以降の方がトータルの枚数は増加している。
- ・2025年10月の回収量の微減が、市内の他の影響を受けているかは要観察
- ・1枚あたりの重量は、5月は冬物、10月は夏物が集まっていることとリンクしている。
- ・年間を通じた1枚あたりの重量は、環境交流センター（常設拠点）と同程度である。

## 5. 事業の成果 <新規>

③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証  
他の常設拠点の動向（テトラポットカフェ）

月	回収	提供
8月	170枚	202枚
9月	241枚	306枚
10月	371枚	0枚
11月	538枚	354枚
12月	257枚	0枚
合計	1,577枚	862枚



※12月11日現在

※提供は、環境交流センターから運搬したもの

※配布数は数えていないが、保管場所が限られているため、回収・提供があった子ども服を順に設置していることから、回収・提供枚数と配布数は概ね連動している

- ・夏頃は回収数が少なく、10月半ばから11月にかけて回収が集中している
- ・子ども服は、カフェのスタッフが週1回、ボランティアが週1回、それぞれ曜日を分けて設置している。

## 5. 事業の成果 <新規>

- ③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証  
他の常設拠点の動向（テトラポットカフェ）



- ・回収ボックスに入っている子ども服を無断で持ち帰る人がいるため、12月に回収ボックスを塞ぐ形で注意を書いたフタを置いたところ、回収枚数が増えた感じであった。  
→実際の回収枚数は実績よりも多かった可能性もある。

## 5. 事業の成果 <新規>

③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証  
他の常設拠点の動向（NAGOMI+）

月	回収	配布	特記事項
8月	0枚	7枚	70枚設置
9月	0枚	7枚	
10月	25枚	32枚	環境交流センターから130枚提供
11月	30枚	39枚	
12月	0枚	8枚	144枚設置、22枚保管

※12月5日現在



- ・環境交流センターの提供で設置している服を入れ替えたら、回収・配布枚数ともに変化があった。
- ・利用者には、市役所でリーフレットをもらって知った人もいた。
- ・2025年春にも動きがあったため、設置の服や認知度の影響ではなく、季節の変わり目による変化の可能性もある。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証

他の常設拠点の動向（蛍池公民館）

月	設置	提供
7月	840枚	464枚
8月	536枚	0枚
9月	604枚	490枚
10月	458枚	0枚
11月	667枚	0枚
12月	393枚	579枚
合計	3,498枚	1,533枚



※12月8日現在

※提供は、環境交流センターから運搬したもの

※回収数は数えていないが、他からの提供がないため、設置枚数から提供枚数を引いた枚数が、概ね回収枚数と見込まれる

- ・ 季節に関わらず設置した子ども服はコンスタントに持ち帰られており、在庫の子ども服の数などを調整しながら設置している。
- ・ 子ども服は、ボランティアが週1回設置している。

## 5. 事業の成果 <新規>

③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証

他の常設拠点の動向（とよなか国際交流センター）

調査日	設置数	特記事項
9/29	80枚	うち20枚が70サイズ以下、設置を整理整頓してみる
10/7	81枚	整理整頓しても変化なし、インスタで発信
10/17	73枚	服の内容にほとんど変化なし
10/27	77枚	10枚ほど新規の服があった
11/17	100枚	12枚ほどは以前と同じだが、それ以外はすべて一新

- ・ 整理整頓や認知度ではなく、季節の変わり目などに動きがあると見込まれる。
- ・ 基本的に無人対応の常設拠点であり、設置以外に子ども服の保管等を行っていない。



## 5. 事業の成果 <新規>

- ③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証  
他の常設拠点の動向（市民公益活動支援センター）  
施設スタッフへのヒアリングのみ実施



- ・ハンガーラック1台に30着程度を設置しており、持ち帰りの頻度がバラバラのため、設置の頻度もバラバラ。
- ・すぐ隣にある子育て支援センターで回収された子ども服も同センターの常設拠点で受け入れしており、同センターでの回収と量は半々。
- ・子育て支援センター経由の子ども服は乳児のサイズがほとんどで、同センターで直接回収するのは100サイズ以上がほとんど。
- ・夏から秋にかけて春物と夏物の回収があわせて500着程度、冬から春にかけて秋物や冬物の回収はその半分程度。回収の8割は夏から秋にかけて集中している。
- ・シミ汚れはかなり少ないため問題ないが、靴や幼稚園の制服などが混ざっていることの方が困る。
- ・子ども服を1枚ずつ写真を撮影してから大量に服を持ち帰る、転売目的と思われる利用がある。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ③常設拠点の運営を通じた子ども服の動向の検証

#### 環境交流センターから常設拠点等への子ども服の提供

提供先	提供回数	重量	枚数
テトラポットカフェ	5回	175.6kg	1,542枚
NAGOMI+	1回	20.5kg	130枚
蛍池公民館	4回	177.1kg	1,465枚
		—	68枚※1
子育てカフェen	1回	6.5kg	160枚
家庭ごみ事業課	2回	225.4kg	1,297枚
福祉支援関係	5回	17.5kg	63枚
	1回	—	12枚※2
合計	19回	622.6kg	4,737枚※3

※1 蛍池公民館へ提供したうち、68枚は重量の計測ができていない。

※2 福祉支援関係へ6回提供したうち、1回分（12枚）は重量の計測ができていない。

※3 合計のうち80枚は重量の計測ができておらず、622.6kgは4,657枚分の重量。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ④独自の資金獲得の試行

#### ワークショップの実施

日付	行事名	内容	参加者	参加費	収入
10/18	豊中まつり	リユースボタンでハロウィンバッグ作り	14人	200円	2,800円
12/14	クリスマスフェスタ	服を使ったエコバッグ作り	14家族 34人	100円	1,700円

- ・ 10/18：昨年度のモデル事業で回収ボックスを作った際に返却されたシミ・汚れ等のある子ども服に付いていたボタン等を活用。
- ・ 12/14：シミ・汚れ等のある子ども服を活用してエコバッグを製作。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ④独自の資金獲得の試行



リユースボタンでハロウィンバッグ作り



服を使ったエコバッグ作り

## 5. 事業の成果 <新規>

### ④独自の資金獲得の試行

#### アンケートの実施

ワークショップやイベントの参加者アンケートに設問を入れる形で実施

※イベントの参加者アンケートは後半実施分のみ

問. 子ども服リユース「おゆずりぐるり」の取組みについて、応援したいと思いますか。

問. 「応援したい」を選ばれた方に質問します。どういった方法で応援したいと思いますか。

問. 「活動に対して寄付をする」を選ばれた方に質問します。寄付しても良いと思う金額を教えてください。（任意）

※今後に向けての調査であり、現時点で寄付を募集しているわけではありません。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ④独自の資金獲得の試行（アンケートの実施）

子ども服リユースの取組みへの応援（アンケート）

問：子ども服リユース「おゆずりぐるり」の取組みについて、応援したいと思いますか。

選択肢	回答数	割合
1. 自分が利用できる(利用したい)ので応援したい	155人	76.7%
2. 自分以外の多くの人ができる(利用したい)ので応援したい	37人	18.3%
3. どちらともいえない・わからない	10人	5.0%
4. 応援したいとは思わない(応援したくてもできない)	0人	0.0%
合計	202人	100.0%

※実施したアンケート全体での集計（②以外やワークショップのアンケートも含む）

回答者の95%が取組みに「応援したい」と回答しており、  
「応援したと思わない」という回答者はいなかった。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ④独自の資金獲得の試行（アンケートの実施）

子ども服リユースの取組みへの応援（アンケート）

問：どういった方法で応援したいと思いますか。（複数選択可）

選択肢	回答数	割合
1. 子ども服の回収や配布に参加する	157人	77.7%
2. 家族や友人等に活動を紹介する	57人	28.2%
3. SNSへの投稿やフォローをする	12人	5.9%
4. ボランティアとして活動に参加する	12人	5.9%
5. 活動に対して寄付をする	3人	1.5%
6. 応援したい気持ちはあるが、具体的な行動は難しい	9人	4.5%
7. その他	0人	0.0%
合計	250人	—

※実施したアンケート全体での集計（②以外やワークショップのアンケートも含む）

※回答の対象外や無記入・無回答を省いた結果

応援の方法として「寄付をする」を選んだ人は、  
わずか3人（1.5%）しかいなかった。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ④独自の資金獲得の試行（アンケートの実施）

子ども服リユースの取組みへの応援（アンケート）

（参考）寄付する金額について

設問の選択肢で「寄付をする」を選んだ人は3人しかいなかった

一方で、選択肢を選んでいないが、金額を記入した回答が一定数あった

選択肢	回答数	1人平均額
野畑図書館	15人	320円
環境展	14人	295円
わくわくランド	2人	1,250円
クリスマスフェスタ	5人	440円
豊中まつり(ワークショップ)	0人	0円
クリスマスフェスタ(ワークショップ)	2人	100円
合計	38人	364円

寄付額は、最高2,000円、最低20円、平均は364円であった。

## 5. 事業の成果 <新規>

### ④独自の資金獲得の試行（まとめ）

- ・アンケートから、子ども服リユースの参加者を対象に寄付を募ることはほとんど期待が持てず、現実的でないことがわかった。
- ・イベントでのワークショップの実施による参加費の獲得は、一定の参加を得ることができるが、実施にかかる準備・対応の手間や一度に対応できる人数などから、資金獲得の主たる方法とするのは難しい。
- ・一方で、ワークショップではボタン等の利活用や、シミ・汚れのある子ども服の活用など、リユースできない子ども服等の活用の機会として有効であることもわかった。
- ・ワークショップで参加できる人数（＝獲得できる費用）には限りがあることから、ワークショップで作ることができる制作物を事前に作り、イベント等で販売するといったことも今後の方法として考えられる。

## 5. 事業の成果 <その他>

<その他>

### ● 広報・情報発信

#### チラシの作成

イベントや回収ごとにPR用のチラシを制作（A5サイズ）

環境交流センターの主催と位置付けることで、市の庁内便（学校や施設等に資料等を車両で配送する仕組み）を活用し、会場場所周辺の小学校やこども園の全児童・園児にチラシを配布

行事名	印刷枚数	主な配布先
東豊中図書館	5,500枚	小学校6校、こども園2園
岡町図書館	6,500枚	小学校9校、こども園3園
野畑図書館	5,500枚	小学校5校、こども園3園
とよなか市民環境展	3,000枚	小学校4校、こども園2園
クリスマスフェスタ	5,000枚	小学校6校、こども園4園
コープ桜塚(回収)	5,500枚	小学校7校、コープこうべ
千里体育館(回収)	4,500枚	小学校5校、こども園3園、体育館利用者

※東豊中図書館のチラシはモデル事業の採択日以前に別予算で印刷・配布

※コープ桜塚（回収）は別日程のチラシで2回配布

## 5. 事業の成果 <その他>

### ●広報・情報発信

#### チラシの作成

モデル事業の実施を通して、市内の小学校39校中27校に1回以上のチラシを配布し、子ども服リユースについて広くPRすることができた。

エリア	エリア内の 小学校	配布した 小学校
北部	5校	5校
北東部	6校	6校
中北部	7校	5校
西部	3校	2校
中部	7校	7校
東部	5校	2校
南部	6校	0校
合計	39校	27校

※小学校区が複数のエリアにまたがる場合は、小学校の位置するエリアに分類

## 5. 事業の成果 <その他>

### ●広報・情報発信

#### 広報誌への掲載

豊中市の広報誌「広報とよなか」11月号に記事を掲載  
(環境交流センターの欄に、子ども服の回収を掲載)



子ども服の回収について

**子ども服を回収しています**  
時開館日の9時～17時 内洗濯済み  
で70cm～160cmの子ども服を同センタ  
ー内の回収ボックスへ持ち込み **他**  
汚れや破れ、毛玉などがあるものや  
下着、水着、靴下などは不可

8日(土)消印有効

対13組 ￥500円 申同センターHP参  
照の上、はがきで同センター。11月

出店者募集

リユースバザー(12月6日(土)開催)

所記載のないものは同センター

〒561-0881 中桜塚1-24-20  
TEL 06-6844-8611  
FAX 06-6844-8668



環境交流センター

## 5. 事業の成果 <その他>

### ●広報・情報発信

#### Instagramでの発信

投稿数：24件（モデル事業期間中）

フォロワー数：381件（開始時） →544件（12月19日現在）

投稿内容：取組み紹介、イベント等の告知や報告、環境に関する発信

月	新規登録	1日の最大登録数
6月	4件	4件
7月	29件	4件
8月	26件	3件
9月	31件	4件
10月	44件	4件
11月	30件	4件
12月	6件	2件
合計	170件	—

・イベント期間中に新規登録がやや多いとはいえ、月単位で見ると登録は分散しており、コンスタントに増えている。

※表は12月9日までのもの

※登録解除もあるため、フォロワーの増加数と新規登録数は一致していない

## 5. 事業の成果 <その他>

### ● 広報・情報発信

#### マチカネポイントアプリでの発信

参加者アンケートの回答者に、豊中市のデジタル地域ポイント「マチカネポイント」を進呈。

ポイントを付与する取組みについては、アプリ内のお知らせにて告知が可能であり、一部で実施。

→ <継続> 図書館（3か所）開催分の告知

<新規> クリスマスフェスタの告知

アプリのお知らせ欄に掲載  
※PUSH通知でも告知が届く



マチカネポイントアプリの  
スマホ画面（イメージ）<sub>80</sub>

## 5. 事業の成果 <その他>

### ●シミ・汚れのある子ども服の対応

#### その他の物品の配布

回収対象としていないが、混入してしまった小物や大人服の配布を試行し、シミ・汚れのある子ども服もあわせて配布した。



日付	場所	参加者	配布		
			小物等	大人服	汚れ等
8/16	環境交流センター	39人	130点	38枚	45枚
12/6	わくわくランド	145人	31点	—	5枚

※わくわくランドは、通常の配布の際にあわせて実施

※上記の表のいずれも、今回のモデル事業以前に回収したものを配布

(今回の結果一覧や、シミ・汚れのある子ども服の動向に影響していない)

#### (参考) 配布数の詳細 (8/16配布分)

	重量	1点平均	帽子	くつ下	水着	スタイ カッパ	新品 小物	大人	シミ 汚れ
用意	31.4kg	105.7g	21点	22点	48点	18点	26点	50枚	112枚
配布	21.5kg	100.9g	19点	19点	48点	18点	26点	38枚	45枚
残り	9.9kg	117.9g	2点	3点	0点	0点	0点	12枚	67枚

## 5. 事業の成果 <その他>

### ●子ども服リユースの意見交換会

7月30日、10月3日、12月9日（各1時間程度）

<参加者>

当団体、連携団体（豊中市、市内の各市民団体）

<主な内容>

モデル事業の進捗報告

課題の共有

今後の方向性についての意見交換 など

## 5. 事業の成果 <その他>

### ● (参考) 重量の計測方法の変更

#### 昨年度のモデル事業

- ・ 0.5kg単位で計測できるデジタル式の体重計を使用
- ・ 子ども服を入れたダンボール箱のまま計量

#### 今回のモデル事業

- ・ 0.1kg単位で計測できるデジタル式の体重計に変更
- ・ 子ども服を入れたダンボール箱の重さを差し引いて計算



## 5. 事業の成果 <参考>

### ●（参考）他のモデル事業との関連

- ・ 他事業：青山商事株式会社「oHOHo（オホホ）CYCLE PROJECT」
- ・ 経過：大阪府の要請で豊中市が環境交流センターに回収ボックスを設置  
※豊中市内では他に市役所本庁舎にも回収ボックスを設置
- ・ 整理：子ども服は既存の常設拠点にて回収し、それ以外を回収する  
回収ボックス付近の掲示物は担当課（減量計画課）が作成  
集まった子ども服の回収等は担当課（減量計画課）が実施
- ・ 結果：期間の途中で2回満杯になり、減量計画課がその都度回収

- ・ 回収条件が異なるため、破れた子ども服を他事業（青山商事株式会社）の回収に持ち込んだ方がいた。
- ・ 回収人数は多くなかったが、一度にごみ袋で数袋分を持ち込んだ方が複数いたため、満杯となった2回とも回収ボックスに収まらず、別で袋を預かった。
- ・ 終了後の11月は子ども服の回収ボックスに大人服の混在が多かった（関係性は不明）。



## 5. 事業の成果 < 達成状況 >

### ● 目標の達成状況

#### 事業目標

子ども服23,000枚の回収と配布、※参加人数7,000人

項目	参加者	配布	回収
常設拠点(環境交流センター)	692人	1,169枚	2,605枚
イベント実施	1,992人	6,016枚	6,479枚
回収ボックス設置(コープ桜塚)	466人	—	4,481枚
回収ボックス設置(千里体育館)	—	—	840枚
赤ちゃん家庭へのアプローチ(ハイハイレース)	206人	119枚	—
赤ちゃん家庭へのアプローチ(乳幼児健診)	248人	251枚	—
高校との連携	170人	502枚	203枚
他の常設拠点等への提供・回収	—	4,737枚	384枚
合計	3,774人	12,794枚	14,992枚

※コープ桜塚は概算人数

環境交流センター主体の取組みだけでは、目標枚数に及んでいない。  
→豊中市内全体での子ども服の動向で確認してみる。

## 5. 事業の成果 < 達成状況 >

### ● 目標の達成状況

(参考) 重量による配布・回収状況

項目	配布		回収	
	全体	1枚	全体	1枚
常設拠点(環境交流センター)	不明	不明	330.9kg	127.0g
イベント実施	795.0kg	132.1g	827.7kg	127.8g
回収ボックス設置(コープ桜塚)	—	—	624.1kg	139.3g
回収ボックス設置(千里体育館)	—	—	126.8kg	151.0g
赤ちゃん家庭へのアプローチ(ハイハイレース)	13.0kg	109.2g	—	—
赤ちゃん家庭へのアプローチ(乳幼児健診)	22.0kg	87.6g	—	—
高校との連携	76.9kg	153.2g	29.3kg	144.3g
他の常設拠点等への提供・回収	622.6kg	133.7g	35.3kg	91.9g
合計	1,529.5kg	132.5g	1,974.1kg	131.7g

※他の常設拠点等への提供・回収は、重量のわかっているもののみを記載

※配布の合計は、重量のわかっている範囲とし、1枚の重量は該当する11,545枚に対して計算

効果検証では、1枚あたりの重量を配布≒133g、回収≒132gと設定する。

## 5. 事業の成果 < 達成状況 >

### ● 目標の達成状況

(参考) サイズ別の回収状況

単位：枚

	～70	80	90	95	100	110	120	130	140 ～	その 他	汚れ	小計
交流センター	227	305	305	170	241	270	260	186	279	180	182	2,605
東豊中図書館	150	252	231	56	220	286	212	170	207	22	66	1,872
岡町図書館	240	241	288	111	173	241	282	130	123	45	92	1,966
豊中まつり	0	1	5	2	0	0	0	0	0	1	1	10
野畑図書館	74	197	182	73	177	266	346	239	345	43	91	2,033
環境展	38	63	66	36	41	50	74	57	78	11	20	534
わくわくランド	10	11	13	5	7	5	3	0	1	3	6	64
コープ桜塚	163	391	461	170	372	469	620	612	917	150	156	4,481
千里体育館	27	91	86	17	53	99	112	109	186	30	30	840
高校との連携	8	17	18	14	15	22	39	42	23	2	3	203
他から回収	15	105	73	32	39	18	12	12	18	35	25	384
合計	952	1,675	1,728	686	1,339	1,726	1,962	1,558	2,180	521	665	14,992

## 5. 事業の成果 < 達成状況 >

### ● 目標の達成状況

(参考) サイズ別の配布状況

単位：枚

	～70	80	90	95	100	110	120	130	140 ～	その 他	汚れ	小計
交流センター	80	89	86	62	66	122	143	188	215	0	0	1,051
東豊中図書館	93	128	162	66	169	223	170	178	208	-17	13	1,393
岡町図書館	231	236	267	106	189	244	310	187	193	2	37	2,002
豊中まつり	0	49	35	1	32	36	55	65	0	-1	-3	269
野畑図書館	103	171	155	76	168	167	322	273	411	-4	8	1,850
わくわくランド	23	32	68	18	92	79	91	26	37	31	5	502
ハイハイレース	5	52	36	13	13					0	0	119
乳幼児健診	30	59	59	39	61					0	0	251
高校との連携	8	38	35	38	46	62	53	109	115	0	-2	502
他への提供	248	751	569	144	366	497	604	461	1088	9	0	4,737
合計	821	1,605	1,472	563	1,202	1,430	1,748	1,487	2,267	20	58	12,676

## 5. 事業の成果 <達成状況>

### ●目標の達成状況

(参考) 1人あたりの子ども服の配布・回収状況

行事名	配布		回収	
	人数	重量	1人枚数	1人重量
イベント	—	—	13.2枚	1.69kg
コープ桜塚	—	—	16.6枚	2.30kg
ハイハイレース	0.6枚	0.06kg	—	—
乳幼児健診	1.0枚	0.09kg	—	—
高校との連携	—	—	8.5枚	1.22kg

※コープ桜塚はカウント日のみの実績

※配布は、配布枚数に参加者全体で割った概算

会場により枚数に多少の差があるが、平均で概ね10枚以上になる。  
ただし、実態としては1人で数枚の方もいれば、複数の袋に入れて大量に  
持ち込む人もおり、個人差が大きかった。

## 5. 事業の成果 < 達成状況 >

### ● 目標の達成状況

#### 豊中市内の子ども服循環の状況

本モデル事業の回収分に、他の常設拠点等の回収を加えたもの

≒モデル事業期間中の豊中市内全体の状況

項目	参加者
本モデル事業の実施分	14,992枚
家庭ごみ事業課(こども園での回収)	4,843枚
常設拠点(テトラポットカフェ)	1,577枚
常設拠点(蛍池公民館)	1,965枚
合計	23,377枚

※本事業以外も本事業のモデル事業の期間に準じる

※常設拠点は主な場所のみとし、枚数は概算を含む

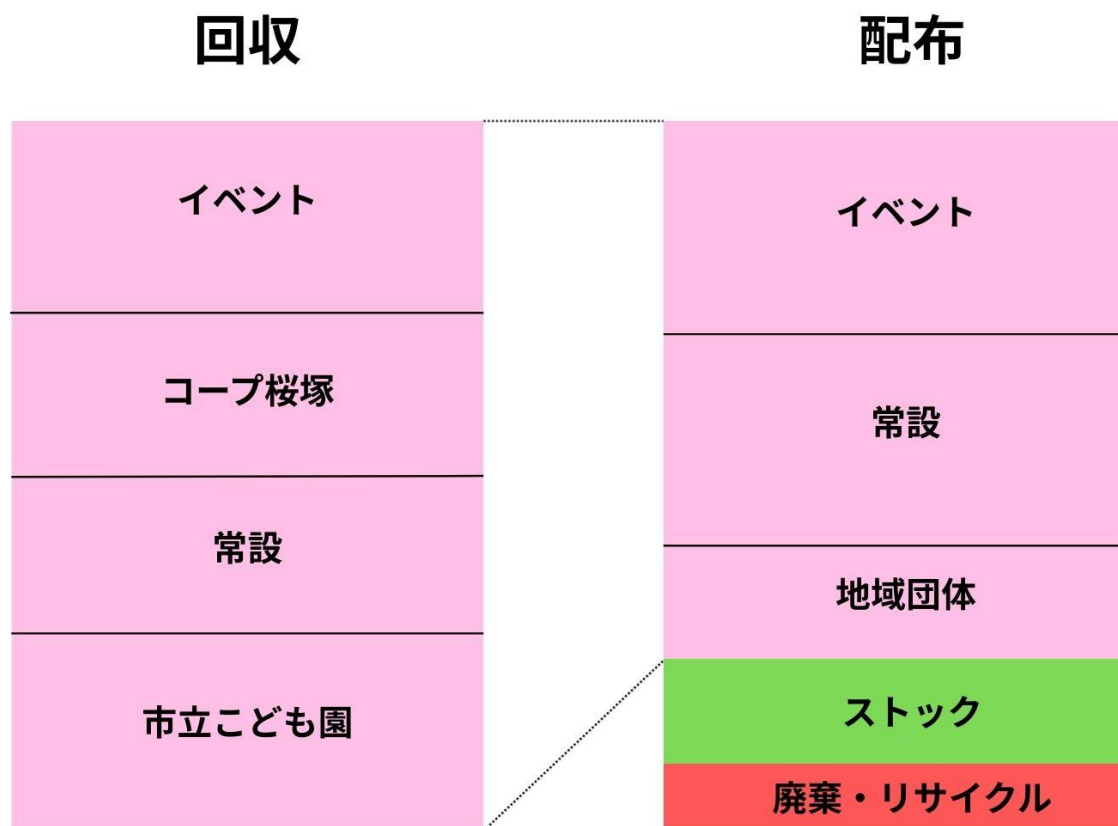
本モデル事業以外の子ども服回収分を含めた豊中市内全体の状況としては、  
モデル事業期間中に目標を達成。

→年間を通して考えると、さらに多くの回収(循環)となっている。

## 5. 事業の成果 < 達成状況 >

### ● 目標の達成状況

豊中市内での子ども服リユース事業の回収元・配布先のイメージ



## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ①イベントで回収・配布した子ども服による資源化可能な繊維類の削減

- ・豊中市の廃棄物処理における繊維類の割合（令和6年度・確定値）

項目	重量
可燃ごみに含まれる資源化可能な繊維類	約604トン
再生資源で回収された布類	約252トン
合計	約856トン

※資源化可能な繊維類は、豊中市家庭系ごみ排出実態調査（令和6年度）にて、可燃ごみの中の「繊維類（衣類）」の割合（1.13%）を重量化したもの

※再生資源で回収された布類は、豊中市の廃棄物処理の数値のうち令和6年度の実績値

- ・本モデル事業で回収した（廃棄されなかった）子ども服の重量

1枚あたり132 g × 回収枚数合計14,992枚 ÷ **約1.98トン**

※（参考）昨年度は1枚あたり152 g × 16,912枚 ÷ **約2.57トン**

- ・豊中市の資源化可能な繊維類に寄与した割合

1.98トン ÷ 856トン × 100 ÷ **約0.23%**

市人口405,946人 × 0.23% ÷ **約934人**

※（参考）昨年度は資源化可能な繊維類1,097トンで**約0.23%**

市人口398,192人 × 0.23% ÷ **約916人**

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ①イベントで回収・配布した子ども服による資源化可能な繊維類の削減

（参考）豊中市内全体の状況（23,377枚）としての検証

- ・本モデル事業以外の子ども服回収分を含めた（廃棄されなかった）豊中市全体の子ども服の重量

1枚あたり132g × 回収枚数合計23,377枚 ÷ **約3.09トン**

- ・豊中市の資源化可能な繊維類に寄与した割合

3.09トン ÷ 856トン × 100 ÷ **約0.36%**

市人口405,946人 × 0.36% ÷ **約1,461人**

本モデル事業の直接実施分に限ると、  
豊中市の資源化可能な繊維類の削減のおよそ0.23%に寄与した。  
これは市民人口のうち、およそ934人分に相当する。  
本モデル事業以外の子ども服回収分を含めた豊中市内全体の状況とすると、  
豊中市の資源化可能な繊維類の削減のおよそ0.36%に寄与した。  
これは市民人口のうち、およそ1,461人分に相当する。

## 5. 事業の成果 <効果検証>

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ②イベントで回収・配布した子ども服による二酸化炭素排出量の削減

- ・豊中市の家庭部門から排出された温室効果ガス（令和5年度・確定値）

→**390,110t-CO<sub>2</sub>**（排出係数は変動値による計算）

- ・服1枚あたりの製造にかかる二酸化炭素排出量

服1枚250gとした際の排出量は25.5kg-CO<sub>2</sub>※

→1gあたり0.102kg-CO<sub>2</sub>となる

**本モデル事業で扱う子ども服（133g）の製造にかかる二酸化炭素排出量**

→ $133\text{g} \times 0.102\text{kg-CO}_2 \div$  **約13.6kg-CO<sub>2</sub>**

- ・ **A：本モデル事業での配布により回避されたとみなす子ども服の製造**

1枚あたり13.6kg-CO<sub>2</sub> × 配布枚数合計12,794枚 ÷ **約174.0t-CO<sub>2</sub>**

※環境省ホームページ「サステナブルファッション」より

## 5. 事業の成果 <効果検証>

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ②イベントで回収・配布した子ども服による二酸化炭素排出量の削減

- ・ **B**：本モデル事業での配布により回避されたとみなす子ども服の廃棄

合成繊維割合※<sup>1</sup>63.6% × 排出係数※<sup>2</sup>2.31t-CO<sub>2</sub> × 回収重量1.98トン  
≒ **約2.9t-CO<sub>2</sub>**

- ・ **A + B**：本事業で削減できた二酸化炭素排出量

174.0t-CO<sub>2</sub> + 2.9t-CO<sub>2</sub> ≒ **176.9t-CO<sub>2</sub>**

- ・ 豊中市の家庭部門からの排出削減に寄与した割合

176.9t-CO<sub>2</sub> ÷ 390,110t-CO<sub>2</sub> × 100 ≒ **約0.045%**

市人口405,946人 × 0.045% ≒ **約183人**

豊中市の家庭部門から排出される二酸化炭素量のおよそ0.045%の削減に寄与した。  
これは市民人口のうち、およそ183人分に相当する。

※1 廃棄物分野における排出量の算定方法について一廃棄物分科会（環境省）より

※2 温室効果ガス排出量算定に関する検討結果（案）（環境省）より

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ②イベントで回収・配布した子ども服による二酸化炭素排出量の削減

（参考）豊中市内全体の状況（23,377枚）としての検証

##### ・対象となる配布枚数

豊中市内全体の回収枚数のうち、92%の21,506枚を配布と設定

※本モデル事業の実績をもとに、全体からその他とシミ・汚れを除いた割合

※ストック分（配布前）は考慮しない

##### ・ **A：豊中市内全体での配布により回避されたとみなす子ども服の製造**

1枚あたり13.6kg-CO<sub>2</sub> × 配布枚数合計21,506枚 ÷ 約292.5t-CO<sub>2</sub>

##### ・ **B：本モデル事業での配布により回避されたとみなす子ども服の廃棄**

合成繊維割合※<sup>1</sup>63.6% × 排出係数※<sup>2</sup>2.31t-CO<sub>2</sub> × 回収重量3.09トン

÷ 約4.5t-CO<sub>2</sub>

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ②イベントで回収・配布した子ども服による二酸化炭素排出量の削減

（参考）豊中市内全体の状況（23,377枚）としての検証

#### ・ A + B : 本事業で削減できた二酸化炭素排出量

$$292.5\text{t-CO}_2 + 4.5\text{t-CO}_2 \doteq \mathbf{297.0\text{t-CO}_2}$$

#### ・ 豊中市の家庭部門からの排出削減に寄与した割合

$$297.0\text{t-CO}_2 \div 390,110\text{t-CO}_2 \times 100 \doteq \mathbf{\text{約}0.076\%}$$

$$\text{市人口}405,946\text{人} \times 0.076\% \doteq \mathbf{\text{約}309\text{人}}$$

本モデル事業以外の子ども服回収分を含めた豊中市内全体の状況とすると、  
およそ0.076%（市民人口309人分相当）の削減に寄与した。

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ③イベントで配布した子ども服による家計の支援の効果（経済的効果）

問：持ち帰った服を購入したと考えた場合、平均して1枚あたりいくらくらいの価値があると思いますか。

	回答枚数	回答数	1枚平均額	1人平均額
東豊中図書館	357枚	56人	460.7円	2,937.1円
岡町図書館	567枚	85人	337.8円	2,253.5円
豊中まつり	51枚	12人	480.4円	2,041.7円
野畑図書館	419枚	59人	535.6円	3,803.9円
わくわくランド	42枚	8人	444.0円	2,331.3円
クリスマスフェスタ	130枚	23人	212.3円	1,200.0円
乳幼児健診	78枚	17人	982.7円	4,508.8円
ハイハイレース(蛍池)	35枚	15人	761.4円	1,776.7円
ハイハイレース(中央)	33枚	12人	1,051.5円	2,891.7円
合計	1,712枚	287人	461.0円	2,749.9円

平均で1枚あたり461円の価値となった。  
昨年度は選択肢の回答を概算して506.4円であったが、  
昨年度とそれほど大きな違いはなかったと言える。

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ③イベントで配布した子ども服による家計の支援の効果（経済的効果）

- ・本事業での配布枚数

項目	配布枚数
常設拠点(環境交流センター)	1,169枚
イベント実施	6,016枚
赤ちゃん家庭へのアプローチ(ハイハイレース)	119枚
赤ちゃん家庭へのアプローチ(乳幼児健診)	251枚
高校との連携(クリスマスフェスタ)	502枚
他の常設拠点等への提供・回収	4,737枚
合計	12,794枚

8,057枚

- ・本事業全体での配布としては、  
461円×配布全体12,794枚＝**約590万円相当**となる
- ・他の常設拠点への提供を除いた直接的な配布のみに限ると、  
461円×配布全体8,057枚＝**約370万円相当**となる

昨年同様、本モデル事業を通して600万円近い経済効果があったと言える。

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

回答者の年代・性別・地域別（アンケート）

選択肢	回答数	割合
1. 10代	3人	1.0%
2. 20代	6人	2.1%
3. 30代	123人	42.9%
4. 40代	106人	36.9%
5. 50代	27人	9.4%
6. 60代	18人	6.3%
7. 70代	2人	0.7%
8. 80代以上	1人	0.3%
9. 回答しない	1人	0.3%
合計	287人	100.0%

選択肢	回答数	割合
1. 女性	245人	85.4%
2. 男性	35人	12.2%
3. その他	0人	0.0%
4. 回答しない	7人	2.4%
合計	287人	100.0%

選択肢	回答数	割合
1. 北東部	34人	11.8%
2. 北中部	37人	12.9%
3. 北西部	35人	12.2%
4. 中東部	33人	11.5%
5. 中西部	76人	26.5%
6. 中部	55人	19.2%
7. 南部	17人	5.9%
合計	287人	100.0%

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

家庭にある子ども服の枚数（アンケート）

選択肢	回答数	割合
1. 1～20枚	42人	14.6%
2. 21～40枚	49人	17.1%
3. 41～60枚	52人	18.1%
4. 61～80枚	39人	13.6%
5. 81～100枚	44人	15.3%
6. 101～120枚	15人	5.2%
7. 121～140枚	7人	2.4%
8. 141～160枚	7人	2.4%
9. 161～180枚	2人	0.7%
10. 181枚～200枚	4人	1.4%
11. 201枚以上	26人	9.1%
合計	287人	100.0%

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

家庭にある子ども服の枚数（アンケート）

・アンケートの選択肢に応じて、保有している枚数を設定

選択肢	回答数	設定枚数	保有枚数
1. 1～20枚	42人	10枚	420枚
2. 21～40枚	49人	30枚	1,470枚
3. 41～60枚	52人	50枚	2,600枚
4. 61～80枚	39人	70枚	2,730枚
5. 81～100枚	44人	90枚	3,960枚
6. 101～120枚	15人	110枚	1,650枚
7. 121～140枚	7人	130枚	910枚
8. 141～160枚	7人	150枚	1,050枚
9. 161～180枚	2人	170枚	340枚
10. 181枚～200枚	4人	190枚	760枚
11. 201枚以上	26人	210枚	5,460枚
合計	287人		21,350枚

各選択肢の回答者数×選択肢ごとの設定枚数

→合計**21,350枚**となる（回答者1人あたり**74.4枚**）

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

家庭にある子ども服の年代別の平均保有枚数（アンケート）

選択肢	回答数	1件平均枚数
1. 10代以下	3人	56.7枚
2. 20代	6人	56.7枚
3. 30代	123人	79.9枚
4. 40代	106人	85.1枚
5. 50代	27人	43.3枚
6. 60代	18人	33.3枚
7. 70代	2人	50.0枚
8. 80代以上	1人	30.0枚
9. 回答しない	1人	90.0枚
合計	287人	74.4枚

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

家庭にある子ども服の地域別の平均保有枚数（アンケート）

選択肢	回答数	1件平均枚数
1. 北東部(北丘、南丘、西丘、東丘、新田、新田南、東泉丘)	34人	68.2枚
2. 北中部(野畑、北緑丘、少路、上野、東豊台、東豊中)	37人	71.6枚
3. 北西部(刀根山、桜井谷、桜井谷東、蛍池、大池、箕輪)	35人	73.4枚
4. 中東部(緑地、寺内、北条、小曾根、高川、豊南)	33人	75.5枚
5. 中西部(原田、豊島、豊島西、豊島北、中豊島)	76人	77.1枚
6. 中部(克明、桜塚、南桜塚、熊野田、泉丘)	55人	70.7枚
7. 南部(さくら学園、庄内西、庄内南、千成)	17人	92.4枚
合計	287人	74.4枚

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

家庭にある子ども服の項目別の枚数（アンケート）

選択肢	合計枚数	割合(%)
1. 日常的に着ている子ども服	10,384枚	48.6%
2. フォーマル服など必要な場合にだけ着る子ども服	1,310枚	6.1%
3. 家族の子どもが成長するのを待っている子ども服	4,342枚	20.3%
4. 家族に着る人がいない、手放すあてのない子ども服	2,082枚	9.8%
5. 廃棄・売却・おゆずりなどの方法で自宅から手放す予定の子ども服	3,222枚	15.1%
無回答	10枚	0.0%
合計	21,350枚	100.0%

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

家庭にある子ども服を着ている人数（アンケート）

単位：人

項目	人数								合計
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	
①同居している子ども	33	102	121	26	4	0	1	0	287
②別居している子ども	274	6	5	2	0	0	0	0	287
③同居している孫	282	3	2	0	0	0	0	0	287
④別居している孫	266	10	3	3	1	3	0	1	287
⑤同居しているその他の人	229	49	7	1	1	0	0	0	287
⑥別居しているその他の人	275	6	4	0	1	1	0	0	287

家庭にある子ども服の枚数と、子ども服を着ている人数から、1人あたりの子ども服の枚数を計算したい

→上記の表で、1つの項目のみを選択している回答のみを分析する

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

1人あたりの子ども服の枚数（アンケート）

選択肢	回答数	1人平均枚数
①同居している子ども	200人	51.1枚
②別居している子ども	1人	5.0枚
③同居している孫	2人	45.0枚
④別居している孫	11人	14.4枚
⑤同居しているその他の人	2人	20.0枚
⑥別居しているその他の人	0人	—
参考：複数の項目を回答	65人	—
参考：無回答	6人	—
合計	287人	

※当該項目のみを回答している人の集計

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

豊中市内にある子ども服の枚数（概算）

同居している子どもの1人あたりの枚数×市内の子どもの人数

※子ども服を着る子どもを0～14歳（人口53,185人）と仮定

$51.1\text{枚} \times 53,185\text{人} = 2,717,753.5\text{枚}$ （ $\div 271.8\text{万枚}$ ）

※本来であれば、別居している孫の子ども服の枚数も加算すべきだが、概算に活用できる統計が確認できないため、同居する子どもの枚数のみに特化して計算

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

子ども服の入手方法ごとの枚数（アンケート）

項目	回答数	合計枚数	1件平均枚数
①新品を購入	253人	3,315枚	13.1枚
②リユース品・古着などを購入	147人	1,359枚	9.2枚
③「おゆずりぐるり」の配布でもらった	186人	2,257枚	12.1枚
④友人・親戚などからもらった	169人	2,601枚	15.4枚
⑤その他	20人	237枚	11.9枚
回答者数	271人	9,769枚	36.0枚

※平均は回答者のみの枚数

※①～⑤のいずれかに回答した人数は271人、いずれも該当しない人数は16人（5.6%）

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

子ども服の処分方法ごとの枚数（アンケート）

項目	回答数	合計枚数	1件平均枚数
①ごみの日に「可燃ごみ」として出した	102人	861枚	8.4枚
②ごみの日に「紙・布」として出した	75人	820枚	10.9枚
③リユースショップ、メルカリなどで売った	101人	1,246枚	12.3枚
④「おゆずりぐるり」の回収場所やこども園 など地域での回収に持っていった	189人	2,939枚	15.6枚
⑤友人・親戚等にゆずった	119人	1,509枚	12.7枚
⑥その他	14人	112枚	8.0枚
合計	254人	7,487枚	29.5枚

※平均は回答者のみの枚数

※①～⑤のいずれかに回答した人数は254人、いずれも該当しない人数は33人（11.5%）

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

（参考）「可燃ごみ」として焼却される子ども服の枚数（概算）

##### ・対象

アンケート回答者287人中、「可燃ごみ」で出したのは102人  
 $102人 / 287人 \times 100 \doteq 35.5\%$

子ども服を着る市内の子どもを0～14歳（人口53,185人）と仮定  
そのうち、「可燃ごみ」で処分しているおよその人数

$53,185人 \times 35.5\% \doteq 18,881人$

「可燃ごみ」で出している市内全体の枚数

「可燃ごみ」で出すおよその人数×1人あたりの平均枚数

$18,881人 \times 8.4枚 \doteq 158,600枚$

1枚あたりの子ども服の重量を132gと設定

$158,600枚 \times 132g \doteq 20.93トン$

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握

（参考）環境省ホームページ「サステナブルファッション」との比較

項目	今回の調査	サステナブル ファッション
入手枚数(購入枚数)	36.0枚	約20枚
処分枚数(手放す枚数)	29.5枚	約14枚
着用されない服の枚数	26.2枚	約23枚
家庭に存在する服の枚数	51.1枚	—

※今回の調査では、2025年4月からアンケート回答時（2025年11月～12月に実施）までの実績であるのに対して、環境省ホームページの調査は、2024年1月～12月の実績であるため、調査時期や期間が異なっている

※どちらも1人あたりの平均枚数

※今回の調査で家庭に存在する服は、同居する子どもの1人あたりの枚数とした

※今回の調査で着用されない服は、同居する子どもの1人あたりの枚数から、「日常的に来ている子ども服」の割合の枚数を除いた残りとした

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握（まとめ①）

- ・家庭にある子ども服の枚数は、回答者1人あたりの平均は74.4枚（概算）であった。
- ・年代別の平均枚数は、10代以下・20代はいずれも平均56.7枚と少ない一方で、40代は85.1枚と突出して多くなっている。これは、年齢が上がるごとに子どもの人数が増えていることや、多様なサイズの子どもの服が増えていくことが想定される。
- ・地域別の平均枚数は、南部の枚数のみ突出して多いが、回答数が他よりかなり少ないため、回答に偏りがある可能性がある。
- ・家庭にある子ども服のうち、約半数は日常的に使われており、約25%が着る人がいない・手放す予定の子ども服となっている。
- ・同居／別居、子ども／孫で区分した子ども服の枚数として、同居であれば子ども／孫の枚数に大差はなかった。一方で、別居している孫の子ども服は、祖父母宅に平均14.4枚も保有されていることがわかった。
- ・アンケート結果をもとに、豊中市内の人口から概算すると、同居している子どものための子ども服だけで271.8万枚程度があることがわかった。

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（定量的な効果の評価・検証）

#### ④市内に存在する子ども服の現状把握（まとめ②）

- ・子ども服の入手方法としては、回答者数が最も多いのが「新品を購入」、1人あたりの平均枚数が最も多いのが「友人・親戚からもらった」であり、全体の平均枚数は36.0枚であった。なお、回答者のうち5.6%は1枚も入手していなかった。
- ・子ども服の処分方法としては、回答者数・1人あたりの平均枚数ともに「地域での回収」などであり、全体の平均枚数は29.5枚であった。なお、回答者のうち11.5%は1枚も処分していなかった。
- ・豊中市内の子ども服と、環境省ホームページ「サステナブルファッション」の数値を比較すると、着用されない子ども服の枚数は同程度であるが、入手枚数・処分枚数ともに子ども服の方が多くなっている。これは、一般的な大人服と比べて、子ども服の方が成長による回転が速いことによるものと考えられる。

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（リユース困難な子ども服の対応）

リユース困難な子ども服（シミ・汚れ等のある子ども服）の混入割合

	回収	汚れ		その他	
		枚数	割合	枚数	割合
環境交流センター(常設)	2,605枚	182枚	7.0%	180枚	6.9%
東豊中図書館	1,872枚	66枚	3.5%	22枚	1.2%
岡町図書館	1,966枚	92枚	4.7%	45枚	2.3%
豊中まつり	10枚	1枚	10.0%	1枚	10.0%
野畑図書館	2,033枚	91枚	4.5%	43枚	2.1%
環境展	534枚	20枚	3.7%	11枚	2.1%
わくわくランド	64枚	6枚	9.4%	3枚	4.7%
コープ桜塚	4481枚	156枚	3.5%	150枚	3.3%
千里体育館	840枚	30枚	3.6%	30枚	3.6%
高校との連携	203枚	3枚	1.5%	2枚	1.0%
他から回収	384枚	25枚	6.5%	35枚	9.1%
仕分け後に選別	—	47枚	—	—	—
合計	14,992枚	719枚	4.8%	522枚	3.5%

全体のうち通常の子ども服以外は8.3%。（シミ等4.8%、その他3.5%）  
ただし、今年度の実施から、その他はすべて配布可能と見込む。

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（リユース困難な子ども服の対応）

リユース困難な子ども服（シミ・汚れ等のある子ども服）の対応

項目		枚数	重量
【A】イベント等で配布（シミ・汚れコーナーの設置）		58枚	—
【A】通常の配布に戻すもの		10枚	1.1kg
【A】シミ・汚れではなく、その他へ変更		39枚	1.8kg
【A】ワークショップで活用		18枚	1.4kg
【B】洗濯の実施		366枚	42.7kg
【C】洗濯に至らないもの	日焼け・色落ちなど	34枚	29.3kg
	破れ・穴あき	41枚	
	のび・毛玉・ほつれなど	98枚	
	染みつき汚れ（洗濯困難）	43枚	
	記名あり	3枚	
【D】未実施（終盤回収分）		109枚	13.1kg
合計		819枚	89.4kg

※リユース困難な子ども服の対応は、本事業で回収したシミ・汚れのある子ども服672枚や、後から（配布時等に）シミ・汚れに選別されたもの47枚に加えて、他の常設拠点（2か所）から預かったシミ・汚れ等100枚を含むため、前スライド（719枚）と合計枚数が異なる。

※【A】その他へ変更は、他の常設拠点から預かった分に小物等が多く含まれていた

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ● 効果検証（リユース困難な子ども服の対応）

リユース困難な子ども服（洗濯に至らない子ども服）の例



色落ち



日焼け



破れ



毛玉



染みつき

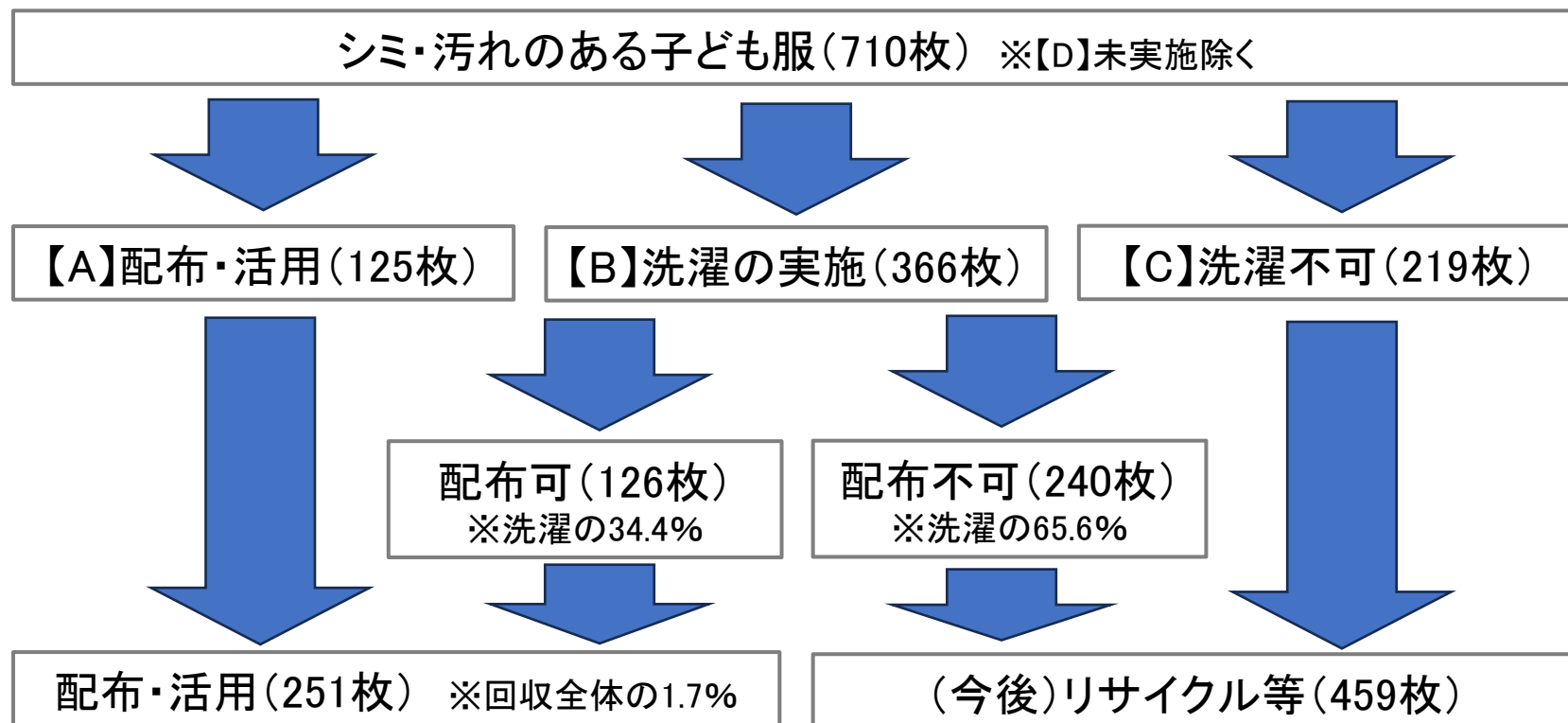


記名

## 5. 事業の成果 < 効果検証 >

### ●効果検証（リユース困難な子ども服の対応）

リユース困難な子ども服の対応【洗濯の実施】



洗濯により配布可能となった割合は昨年度と同程度であった。

配布活用に至った割合は本事業全体の1.7%に相当。

→本事業でリユースできないのは3.1%のみ。（≒97%リユースを達成）

## 5. 事業の成果 <効果検証>

### ●効果検証（リユース困難な子ども服の対応）

（参考）ボタン・ファスナーの活用

昨年度のモデル事業で子ども服をリサイクルして回収ボックスを制作  
回収ボックスに約80kgの子ども服を提供

→回収ボックスに使用できないボタン・ファスナー等が返却された  
今年度のモデル事業で資金獲得のワークショップにボタン等を活用

	昨年度返却分		ワークショップ使用	
	個数	重量	個数	重量
穴あきボタン	250個	79g	51個	10g
スナップボタン	731個	897g	62個	128g
その他ボタン	69個	125g	23個	40g
ファスナー	30個	537g	5個	145g
その他(ビーズ、バックル等)	—	365g	—	41g
	1,080個	2,003g	141個	364g

ワークショップの参加人数があまり多くなかったこともあり、  
ボタン等の活用は重量で2割弱に留まった。

## 6. 今後の検討課題

### ● ボランティアについて、登録制度の検討

- ボランティアに登録しても、ボランティアの機会や場所、定員が限られており、参加者が偏っている。一方で、人手が欲しい時に集まらないこともある。市内のさまざまな場所での機会作りの検討も必要。
- 昨年度のモデル事業にて、ボランティア説明会を実施し、参加者を対象に登録制度をスタートしたが、登録期限等を設けていないため、単なる登録だけに終わってしまっている人もいる。また、登録時に子ども服を転売しないとといったような誓約を取っているわけではなく、制度運用に関するルールも設定していないため、登録に関するルールを整備することが必要である。

### ● 季節に応じた子ども服の保管

- 今年度のモデル事業を通して、秋には冬物の子ども服のニーズが高いが、回収する子ども服は夏物が大半であるなど、回収した子ども服をそのまま配布するのが難しいケースが多いことがわかった。そのため、回収した子ども服を次の季節が来るまで（半年程度）は保管し、適切なタイミングで配布することが望ましい。豊中市はすでにその運用を行っているが、より細かい仕分け作業が必要になることや、より多く保管場所が必要となるため、当団体での適切な運用の検討が考えられる。

## 6. 今後の検討課題

### ●連携団体と常設拠点の関係性の整理

- 「おゆずりぐるり」の取組みは、子ども服リユースの取組みを行う団体等が中心となり、具体的な活動の展開を検討・実施し、現在に至っている。そうした中で、すでに取組みをしている他施設や、新たな拠点とも連携し、リーフレットに記載するような常設拠点を広げてきた。そうした中で、連携団体が直接関わっている常設拠点もあれば、情報共有等も行っていない常設拠点もあり、また、新たな拠点への協力の際は、連携団体に参加してもらうのかどうかといったことも不明確であった。
- 連携団体と常設拠点を一体とするのか、あるいは別で常設拠点ネットワークのような情報交換の場を設けるのかといった検討の余地はあるが、連携団体と常設拠点の関係性について、いずれ整理していくことが必要と考えられる。

### ●シミ・汚れのある子ども服を回収しない工夫の検討

- シミ・汚れのある子ども服について、今後も洗濯やリサイクルなどによる利活用を進めていくが、利活用には一定の費用や手間がかかることから、今後は回収ボックス等に入れられない工夫（PR等）についても、検討していくことが重要である。

## 6. 今後の検討課題

### ●後から見つかったシミ・汚れのある子ども服の対応

→回収した子ども服を仕分けする際には、一斉に多量の子ども服を取り扱うため、シミ・汚れがあることに気がつかず、サイズ別に保管する子ども服の中に混ざってしまうものが少なからずある。子ども服を設置や配布する段階で、保管している子ども服を取り出したところ、シミ・汚れがあることに気がつき、設置や配布から省くものの、その時点ではいつの時点で回収した子ども服かわからなくなっていることが多い。回収→配布のカウントがイレギュラーになるため、カウント方法を確立するとともに、仕分け時の精度を高めていくことも必要になってくる。

## 7. 事業終了後の展開

### ●今後の取組みについて（年度内）

- ・ コープ桜塚での回収は継続する。

現在、半年ごとに双方で確認することとなっており、2026年6月までは継続することとなった。

- ・ 常設拠点との連携（ボランティアによる子ども服の対応、他の常設拠点へ子ども服の提供）は引き続き実施する。
- ・ 本事業で改定したリーフレットは引き続き配布を行う。
- ・ シミ・汚れのある子ども服で、配布・活用に至らなかったものについて、リサイクル等の対応を行う。
- ・ 乳幼児健診での子ども服配布は、年度内にあと1回程度実施予定。
- ・ ボランティアについて、登録制度の検討を行う。

現時点では登録期間がなく、実施要綱等も定まっていないため。

- ・ 年度内に意見交換会を開催し、次年度に向けての検討を行う。

## 7. 事業終了後の展開

### ●今後の取組みについて（次年度）

※連携団体との意見交換や、豊中市との協議を前提とするが、現時点では以下を想定している。

- ・環境交流センターの予算は今年度と同程度（約50万円）を確保する。  
予算にはコーディネーター等の交通費を含む。
- ・本モデル事業の「継続」の取組みは、次年度も引き続き実施する。  
一部のイベント実施分のマチカネポイントの費用を市の予算で確保。
- ・本モデル事業の「拡充」「新規」の取組みは、次年度の継続を検討する。  
高校との連携は、継続的な関わりを前提に開始したため、基本的に次年度以降も継続していく。
- ・希望する小学校等へ子ども服リユースの出前授業を実施する。  
本モデル事業で作成したチラシを定期的に案内する。
- ・次年度から改定作業を開始する豊中市の行政計画の中に、子ども服リユースの実績を指標として反映できるかを提案・調整する

## 8. 横展開へのポイント

### ●他の自治体等への情報提供

→2025年9月に開催された「資源循環自治体フォーラム」（環境省等が主催）に参加した自治体から、後日に子ども服リユースの取組みについて問合せがあり、対応を行った。自治体により状況が異なるものの、基本的な取組みについては実施可能な内容であるため、必要に応じて情報提供を行い、各自治体へ取組みが広がっていくことが考えられる。

### ●子ども服以外のリユース品との連携

→今年度の実施の中で、子ども服の回収に混ざっていた小物など「その他」に特化した配布を行ったところ、非常に多くの持ち帰りがあり、また、相乗効果でシミ・汚れのある子ども服の持ち帰りも多かった。  
→参加者から子ども服以外の配布についてもしばしば尋ねられるなど、参加者のニーズも高いことから、子ども服以外の物品についてもどれくらい対象を広げていくかが引き続きポイントになると考えられる。